新京日日新聞
夕刊　十月二十九日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 廣告料 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話（編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇）
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

北支排日滿機關の即時絶滅を斷行せよ
川越天津總領事の名に於て
河北當局に嚴重抗議

（天津廿九日發國通至急報）灤州事件並に梅津、何應欽協定再强調の嚴重抗議文は本廿九日午前九時川越總領事の名に於て河北省主席商震、平津衛戍司令宋哲元、天津市長程克、北平市長袁良の四氏に對し同時に手交された抗議文內容左の如し

平津地方に於る黨部及び藍衣社等一切の反日滿的機關の彈壓は過般の北支事件に際し貴國側の契約せる所なり、然るに灤州事件の調査其他我方數次探査の結果に依れば右誓約に拘らず支那側の反日滿機關は名稱を變へ形を異にし或は秘密的存在として今尙多數潛在し依然として活動を繼續し居る證據歷然たるものあり、然るに之等に對する貴國の取締は極めて微温的にして誠意の疑はるゝもの少なからず、却つて隱然之を助成し居るに非ざるやを思はしむるものあるは本總領事の甚だ遺憾とする處なり排日不良分子の徹底的排除斷行方に關しては曩に商震主席宛九月二日附公文をもつて嚴重抗議して來たにも拘らずその後支那側の取締は實績の認むべきものなし、斯くては北支に於る各種申合せに違反し益々事態を紛糾に導く惧あり、依つて本官は玆に併せて特に貴下に對して管轄下の排日滿機關の存在並にその活動を絕無ならしむる爲迅速且つ徹底的なる手段方法を採らん事を要求す

駐支軍部でも
抗議內容の徹底斷行を强調

（天津廿九日發國通）正式抗議公文書手交後軍部では中井參謀、高橋駐平武官を商震、宋哲元、袁良の三氏の下に派し天津では石井參謀が程克市長を訪ひ抗議文の徹底的斷行方を强請した、尙要求條項の內容に關しては一切外部に發表されぬ事となつてゐる

屢次の抗議にも反省の色なきは遺憾
抗議文手交と共に　駐屯軍當局談發表

（天津廿九日發國通至急報）抗議文手交と同時に北支那駐屯軍司令部では左の如き當局談を發表した

本年六月何應欽氏と梅津司令官との間に於て誓約せられた北支協定は六月廿八日軍司令官が聲明した如く

北支の明朗化を庶幾したのであるが之は中外の人々の大いに待望するところであつた、而して右は一時的辨法に止まらざるやう特に希望したにも拘らず幾何もなくして灤州事件に於てこれに一大暗影を投ぜられ、又爾後に於ける內面的諸事情は遺憾乍ら右協定に反したる潛在且辛辣なる抗日反滿を裏書するものであるが故に去る九月我川越天津總領事の警告となつたが爾後その實行は何等事らぬのみならず我調査により如上の策動は眞に深刻であつて灤州事件の如きも又その暗躍の結果なることが

判明し、恐るべきテロ行爲が以前にも增して計畫的且徹底的なることを發見するに至つた而して如上の事實は支那側の制令不徹底の結果なるべしとする我寛容なる態度を見くびりたる爲ならんか、近時益々その鋒先を鋭くし特に最近に至つては挑戰的態度すら認めらるゝ諸事情をも呈するに至つてゐるのは誠に遺憾とするところである、もしそれ傳統的以夷制夷の爲め北支赤化をも敢て辭せざらんとするが如きことありとするならば日本としては之を默認し得ぬ立場にあることをこゝに强調する次第である、之を要するに

吾人の惧るるところはかゝる情勢の繼續によつて齎らされる東洋將來の情勢にあつて軍は友邦中華民國四億民衆のため而して東洋平和の爲に支那現政權に向つて敢て警告を發し北支協定の嚴密なる履行を迫らざるを得ない次第となつたわけである

し事態はいよ／＼重大化するに至つたが、一部においては

武宜亭氏は
農民運動の先覺

香河縣に勃發した北支農民の自治運動はその後全省に波及してゐるが、二十九日當地に達した電報によれば香河縣農民運動の指導者である武宜亭氏は熱心な農民運動の實踐家であり農民の間に非常な信望を有して居り、これによつてみても今次の民衆運動が全く農民の意志によつて生れた純粹な自治要望運動であることが明らかである、なほ武氏は民衆救濟に關し數種の著作をなしてゐるほか漢學者としても知られてゐる（寫眞は武宜亭氏）

現在の北支政情では
經濟提携は望めない
―石本滿鐵理事歸連談―

【大連國通】二十八日午後三時旅客機で歸連した石本理事は左の如く語つた

約二十日間に平綏線大同から綏遠を經て包頭迄行つて來た、北平では宋哲元氏初め要人連とも會つて來たが別に具體的な話はなかつた要するに經濟提携にしても仲良くやつて行かうとは云つてゐるが、今の儘の北支の政情では具體的に話しの進めやうはない、詳しいことは總裁に報告してからにして貰ひたい、十二月には又行かうと思つてゐる

河北河南山東の省境に
土匪軍蜂起す

【天津廿八日發國通】河北、河南、山東三省々境に民衆運動とはその趣を異にした地方雜軍が蜂起し自稱河北省第一路司令武惠は大名附近にあり自ら山東第三路總司令劉萬鵬と稱し廿五日以來大名の奪取に着手又淸河縣にも河北人民自治軍總指揮部總參謀劉白東なるものが附近の土匪三四千名を糾合して淸河占略を策し更に一部は山東の冠縣及び津浦沿線滄州の奪取に向つてゐる模樣である

これ等純然なる民衆運動に對し政治的背景を有すが如く見

谷參事官
今夕歸京

天津における總領事會議に出席のため渡支中の谷參事官は二十九日午後五時三十分着あじあで歸任する

日滿通貨統制
具体的方針決定
流通量漸減の後鮮銀劵撤去

【東京國通】日滿爲替安定策を重點とする滿洲國幣制の統制問題に就ては過般來大藏省對滿事務局及び來朝中の星野滿洲國財政部總務司長、荒川關東軍財政顧問との間に數次亘り折衝研究が行はれた結果

一、滿洲國で爲替管理法を施行すると共に財政產業一般に亘つて之が確立安定を圖り自主的に國幣價値の安定を圖る

一、これに對して日本側としては極力援助を與へ將來朝鮮銀行劵、鈔票の如き日本系の通貨を撤去し國幣による完全なる統一を目標として連絡强調を圖る

旨の方針を決定、これに具體方策に就て引續き協議中であつたが廿八日夜歸國する星野財政部總務司長の

出發を前にして大藏省で最後的協議會を開催協議の結果大體別項の如き日滿通貨安定策を講ずることに意見一致した

一、滿洲國幣の對外價値は今後日本の圓價に結び日滿爲替のパー維持を目標とする

二、滿洲國に於て爲替管理法を施行し財政產業施設の安定と共に國債收支の均衡を圖る、但し日滿間の通商貿易に就ては除外例を設け日本との取引に支障なからしめる

三、日本側では之が施行に對し全面的支援を與へると共に滿洲國及び附屬地（關東州は除く）に於て國幣を出來るだけ多く且つ廣く使用するやう助力する

四、その第一着手として先づ關東軍の支拂ひ及び滿鐵の運賃等を國幣建とし漸次國幣を朝鮮銀行劵に替らしめ國幣統一の基礎を造らしめ將來これが完全な統一を圖らしめる

即ち以上の如く專ら滿洲國に於ける自力更生に重點を置き日滿爲替を法律の規定に從ひ爲替平衡資金の設定によつて維持するが如き手段を避け究極に於て國幣による統一を

目標としてゐる、然しこれは飽くまで漸進主義を採り右政策の實施によつて朝鮮銀行劵の流通量が漸減した後に於て實情に即して最後的な朝鮮銀行劵の撤去及びこれが補償問題等を考慮することとし今回は一切これに觸れないことになつた

支那陸軍大演習中止

【上海廿八日發國通】支那陸軍がこの秋を期して大々的に南京、上海を中心に行ふ豫定であつた大演習は約六萬の兵力を上海附近に集中せるため民心の動搖を來し延ては上海の經濟界に惡影響を及ぼすに至つたので財政部では蔣介石氏に對し大演習を中止されん事を請願する處あつたので蔣氏は大演習を中止するに決し、近く各隊長宛演習中止の密令を發する事になつた、然し南京、上海、杭州の鐵道沿線に集結した部隊中第五十七師、三十六師、八十七師の主力約三萬は當分杭州附近に駐屯する豫定である、一方津浦、平漢の兩沿線にある中央軍は河北農民暴動の南方への波及を警戒する爲同地方一帶の農民に對する威嚇の目的で局部的に各部隊毎に演習を行ふ事となつた

對英軍縮回答文
けふ閣議で決定
藤井代理大使に訓電せん

【東京國通】對英軍縮回答文は外務海軍兩省で協議してゐたが意見の一致を見たので廿九日の定例閣議に承認を求めた、回答案文內容は嚴秘に附されてゐるが

一、ワシントン、ロンドン兩條約の規定に依れば海軍々縮會議の招請を接受したる日本政府は欣然之を應諾參加する旨通告するの光榮を有す

一、但し從來屢々聲明したる如く日本政府は忌憚なき意見の交換が行はれ徹底的軍縮の協定成立を希望し右目的發生のため協力するの用意を有する

一、十二月二日の會議開會日取りに關しては異議なけれども幾分遠隔の地の事とて出發準備の都合あればロンドン到着は多少遲延する事あるやも知れず

と云ふ程度のものと確聞する代表人選は海軍側は永野大將に決定したが外務側は初め擬定せる佐藤大使が廣田外相の要望を退け辭退し、永井大使を推す事となつた永井大使は未だ諾否の回答を與へてゐないが廿九日中に承諾の模樣で回答を待つため持廻り閣議で決定の筈である、同大使の就任が極れば外務海軍兩省より從來の經緯を說明し置く必要ある故十一月十日頃まで出發は困難視され、回訓延期を要望するかも知れない

大村副總裁
新任挨拶來京
社員にも初の訓示

滿鐵副總裁大村卓一氏は新任挨拶のため三十日午前七時三十五分來京、ヤマトホテルで一旦小憩の上、新京神社及忠靈塔に參拜し、同九時十分からホテル納涼園に在京社員を集め一場の訓示をなすはずである、終つて關東軍、大使館、滿洲國その他各方面を歷訪して同ホテルに投宿の豫定、滯京中の日程は左の通り

△十月三十日（水曜日）
一、新京驛着　午前七時三十分
一、大和ホテル休憩
一、新京神社參拜　午前八時三〇分
一、忠靈塔參拜　午前八時五〇分
一、社員訓示（就任挨拶）午前九時一〇分　於大和ホテル納涼園廣場（雨天の際はホテル大食堂）
一、關東軍訪問（軍司令官、正副參謀長、顧問外）
一、大使館訪問（谷、守屋參事官外）
一、關東局訪問（總長、各部長外）
一、憲兵司令官に挨拶
一、駐滿海軍部司令官訪問
一、國務總理大臣外訪問
一、休憩　正午
一、會議參列　午後一時三〇分
一、宴會　午後三時
△十月三十一日（木曜日）滯在
一、十一月一日（金曜日）
一、新京驛發　午前九時

滿鐵總裁以下
重役連來京

三十日開催される關東軍幕僚と滿鐵重役の懇談會に出席のため、河本、佐々木、佐藤、郡山各理事、中西總務部長一行は同日午前八時五十分來京し午後十時發で南行するが、松岡總裁は飛行機で午後一時卅分着、天候の如何では午後二時着來京の豫定で宇佐美、石本兩理事の時刻は未定である

伍堂製鋼社長
渡歐挨拶

鞍山昭和製鋼社長伍堂卓雄氏は渡歐挨拶のため一日午後五時三十分來京、ヤマトホテル投宿、二日は關東軍司令官、實業部大臣、電業公司、海軍部司令官を歷訪の豫定

その日／＼

◇北支の反滿抗日に總領事から嚴重抗議、たゞの抗議で事が濟めば問題はないが
◇日滿通貨協定なり、金、國幣パー釘付け、羨まれた日系官吏に哀愁
◇十一才少年金を盜んで家出、しかも數度とは何がそうさせたかが問題になる
◇一方十才少女が轉校第一日に家路を迷ふ、こんなのも親御さんに注意を望む
◇早慶野球雨の後が四對四の引分け、興行價値百パーセントといふ處だが……

人事往來

▲東條英機少將（關東局警務部長）二十八日午後歸京
▲靑木重臣氏（同高等課長）同
▲武部六藏氏（同司政部長）同
▲熙洽氏（宮內府大臣）二十九日午前吉林へ
▲津田中將（駐滿海軍部司令官）廿九日午前ハルビンへ
▲小林鐵太郞氏（鐵路總局）廿八日午後來京ヤマトホテル
▲矢中快輔氏（奉天棉花會社員）同
▲河崎松之助氏（富士電機會社員）同
▲見目惣一氏（同）同
▲執行永郞氏（同）同
▲首藤定氏（大連錢鈔業）同
▲人見雄三郞氏（滿鐵社員）同
▲大野壽龜氏（奉天機械販賣商）同
▲中野某英氏（大阪會社員）同
▲池田長康男（貴族院議員）同
▲田中鎌太郞氏（ハルビン市公署）同
▲田中喜秋氏（福山市金山會社取締役）二十八日午後來京名古屋ホテル
▲松井石根大將（同）
▲相澤小壽氏（同秘書）同
▲大川秀夫氏（滿鐵社員）同
▲田中銀次郞氏（札幌木材商）同
▲谷井毅夫氏（石川島造船所員）同
▲香川守行氏（奉天酸素製造所員）同
▲高橋明業氏（京城釀造所）同
▲竹淵積次郞氏（大林組）同
▲伊東喜八郞氏（興安北省參與官）同
▲吉田辰五郞氏（東京會社員）同
▲阿川重郞氏（阿川組）同
▲セミヨノフ將軍 二十八日午後來京國都ホテル
▲甲斐喜八郞氏（日本鹽業會社員）同
▲那須皓氏（東京帝國大學教授）同
▲伊藤喬二氏（藥劑師）同
▲矢野茂成氏（會社員）同
▲津川哲三氏（鑛發會社員）同
▲宮家昌三氏（東洋畜產會社員）同

光りの彼方に
56　或る條件（二）
大林梅子作

鐵三としては、こんなに早くチリーが訪ねて來るとは思つてゐなかつたので、急にそは／＼してゐた。

鐵三が玄關へ出て來ると、チリーは笑顏を見せて鐵三に手を與へたのです。もう彼女は堅い決心をしてゐると見えて、昨夜から見るとすつかり落ちつきはらつてゐる。

鐵三は、チリーの手を取つて、三階の書齋に案內して行つた。其處は平常から鐵三の秘密室同樣になつてゐて、奉公人は勿論のこと妾の由子でさへも鐵三の呼んだときでなければ絕對に上つて來ては不可ないことになつてゐた。

只、手許の用事をするためにお氣に入りの小間使のひとりが、次ぎの居間に控えてゐるばかりで、他の者は、絕對に近づけないことになつてゐるのです。この三階は書齋、寢室、接見室、座敷、座敷、女中部屋と五つに分れて、座敷と女中部屋だけが日本間になつてゐる外すべて洋風の造りであつた。

チリーは昨夜舞臺でつけてゐたよりも更に美しい洋裝をしてゐてそのちゞれた黑髮を赤のバンドで結んでゐた。

急いで來たゝめに暑いと見えてかの女は、部屋に入るとハンカチで顏を拭いたが、形のいゝ鼻のわきに、まだ小さな汗の粒がふき殘されてゐた。

「チリーさん。よく來て呉れたネ。」

と鐵三は幾度も繰返したこの言葉をまた前置きにしてから言つた

「俺は今朝からいろ／＼用意をして待つてゐたのぢやよ。さあ其處のお方の椅子へ來た方がえゝ」

「ありがたう」

チリーは、從順に、鐵三のいふとほり窓に近い鐵三の隣の椅子に來て腰を掛した。鐵三は何となくだまつて見て居つたがます／＼見るが見る程彼の美しさにボンヤリとして恰も愛する西洋人形を見る如く、彼は瞬時無言の境界に激入していたのであつた。

チリイさんおまへは何んと美しい成程西洋人形のいきた小娘のやうであるが俺は生れて初めてお前さんのやうな美はしい娘に會した事はないよ、神の授けか天の給物か俺はもう全くお前の顏を見て居る丈で生命が十年も延びたやうに感ぜられるよ。

可愛いとはこんなことかと心から見とれるやうにもう心も奪はれるばかりに彼のひとみは彼女の方に向けられました。

名を聞いたときには、これ程に美しい女だとは勿論思つてゐなかつたのです。

まだ、最初に劇場で會つた時にもこれほどまでに美はしい小娘であつたとも思はなかつたが今更のやうに鐵三は、チリーの纖足のうすいうぶ毛に見惚れながら、思ひがけなくも道の途中で見出した寶物のやうな氣持ちがするのでした。

「チリーさん、貴女はあの劇場に泊つてゐるんかね」

鐵三は、或る意圖を以て、かう訊いてゐたのです。

すると、チリーは相變らず笑顏を見せて言つたのです。

「あたし、香苗ねさんの許に泊つてゐるのよ」

「ほう。あの本多香苗といふ女かネ。さうか、さうか……」

と、鐵三の顏で、二度目にはさうかさうかと頷くやうにいつて、一寸、考へ込むやうにしてゐたが、

「どうぢやね、チリーさん一層俺の家に來てしまはんか？ この屋敷に……」

と、鐵三は、チリーの顏を覗き込むやうにして云つた。

十一歳少年の家出 その原因は何か
今までにも數回家出 十七圓七十一錢を費ひ込む

兩親のもとにあつて何不自由なく育つて來た十一少年が數回に亘つて無斷家出を企て生れ持つた盜癖でもあるまいに一週間前には

隣家 から現金二十數圓を盜み出し、今度は自家から六十圓まで拔きとつて高飛びまで企てた弘少年は果して何が少年をさうさせたか?については教育者子を持つ親たちの最も關心をもたれる問題である、同少年の家庭は實父母の仲に弘の弟妹二人、それに母親の連れ子で義兄に當る某氏と六名の家族で父は中央銀行印刷所に、義兄も同じ中央銀行に勤めてゐる、母はひとのみち教團に毎朝通つてゐるといつた家庭

昨年 九月まで大連某小學校に在學しその後大連の親戚に預けられて本年四月市內某小學校三年に轉校した、その後一、二度缺席、學校から家庭に通知すると家は出て學校には出ないで親に無斷で家出した事がある、十一、二歳の子供が度々家出する等普通では考へられない、學校では級友より一年歳上でいつも餓飢大將で腕白ばかり働いてゐたが果して家庭にあつてはどんな

愛に 育れて來たものか又復義理の兄との仲がどんなものであつたか父兄が語らぬため一般に疑はれてゐる

玩具の刀一本 後は何に費つたか

家出して四時間にして發見された同少年は何に使つたか四時間のうちに十七圓七十一錢消費して殘金四十二圓二十九錢を懷にして大連ゆきの切符を買ひに來て發見されたのである、金の使ひ方については三十錢で玩具用の刀を一つ買つたと言ふだけで後は何を買つたか判らない

驛を彷徨ふ少女は 轉校したばかり
やつと判つて親許へ

六十圓盜み出しの家出少年で大騷動を演じた二十八日夜の新京驛に時も時同問題が片附きもせぬうち又もや今度は十歳になる少女が構內を徘徊してゐるのを警官が見つけいふことなすことはつきりせず係官を手古摺らした、二十八日午後八時ごろ出札口に一少女一人が徘徊してゐるのを

發見 した忠末巡査が發見、なだめて住所、所屬學校を尋ねても判らず、携帶してゐる通學用手提鞄の中味を調べると白菊小學校から配布された「精神作興週間」の家庭に通知した書類があつたので白菊小學校に問合せたがそんな兒童は判りませんとの返事、少女のいふのに父は國際運輸の運轉手だといつたので國際に問ひ合せても判らぬとの事で困り切つてゐる矢先に梅ヶ谷靜子と自分の名前をいつたので小學校に再び問ひ合せると同少女はその日兄妹三人白菊小學校に轉校手續をとつたばかりの新發屯清和街三百十七號運搬業梅ヶ谷吉治長女靜子(一〇)と

判明 し十一時半ごろ忠末巡査は同家に送りとゞけた、同家では夜になつても家に歸らぬ少女の行方を氣遣つて內輪で搜査してゐたものである

苦力轢かる

二十八日午後五時過ぎ高砂町益發號苦力山東省生れ李白が住吉町四丁目發電所へ石炭を運搬して空車十八輛を牽引して專用線を走る貨物列車に飛び乘らんとし過つて線路內に轉落左足膝關節から轢斷され直ちに滿鐵新京醫院に入院加療中であるが生命危篤である

◇……全滿々人初等教育聯合會議

躍進滿洲國の教育に一新紀元を劃す全滿々人初等教育聯合會議は廿九日午前九時より公學堂講堂に於て全滿初等學校長廿七名並に滿洲國文教部及各省教育廳の關係者を網羅した大會議が行はれた(寫眞は會場の全景)

御詠歌の淨財を 國防獻金に 六十四老媼の奇篤

『我等の大空は我等で守れ』の標語を掲げて新京の防空獻金は種々の挿話を織り込んで續々と集つてゐるが二十八日六十歳位の老媼が新京署保安係を訪れ『輕少で誠にお恥しいことですが國防費の中に加へて頂きたい』と金十三圓を係官の前に差し出したので係官は大いに感激させられ事情を聞くとこのお婆さんは市內羽衣町三丁目十二番地ノ二喜來シマ(六四)さんといふ方でシマさんは目下新京市民が防空獻金につとめてゐるのに勵まされ二十三日から四日間市內各戶を訪問詠歌をあげて得た淨財十三圓を國防獻金に差上たいといふのであるが署では直ちにその手續をとつた

吉田秀雄氏 百圓献金

室町二丁目吉田醫院長吉田秀雄氏は二十八日金百圓を防空獻金として田中祝町區長を通じ申込んだ

北滿各地の發展は たゞ感慨無量
農業移民も滿足だ 視察から歸つた松井大將語る

ハルビン、佳木斯、永豐鎭、チチハルと約一週間にわたり北滿の空の旅を終つて二十八日再び來京した松井大將を名古屋ホテルに訪へば温い陽ざしを一杯に浴びた日本座敷の眞中で鐵色の丹前に寛いだ將軍は「一週間ばかりの旅行で皮相な觀察を免れないが」と前置して北滿視察の感想談を語つた

三年振りに 見た北滿地方の進歩の著しいのに驚嘆した、ロシアの全盛時代から北滿に關係しシベリア撤兵後ロシア勢力の回復期を知つてゐる自分としては今日の隆々たる北滿地方を見て全く感慨無量である、天意か天命かそれとも皇軍の威力か、北滿における文化、經濟建設の發展によつて明るい前途の光を見出しつゝあることは東亞百年の平和から見ても誠に喜ばしいことである、滿洲國でも南滿と違つて北滿は一元的な明るい指導を行ふことは困難であらうが過去はともあれ五族の力によつて王道樂土を建設するためには形よりも精神方面の努力が盡されねばならないと思ふ、權力により承服せしむる時代は一時的なもの であるから民衆の融和團結によつて明朗な北滿を建設してゆくことが大切な問題であらう、北滿の開拓者、永豐鎭の移民團をみて來たが移民諸君の涙ぐましい努力には敬服した、今では村長以下落ちついて新らしい嫁御を迎へ輝しい希望に燃へて働いてゐる、來年から自給自足が出來るといつて喜んでゐたから平和的移民となりつゝある、新興チチハルの勢は十數年前とは隔世の感がある

なほ松井大將は三十日あじあで離京するが來月二日遼陽

北大山で 行はれる日露戰役の勇士市川中尉の記念碑除幕式に出席することゝなつてゐる、市川中尉は將軍が松井中隊長として活躍した當時の部下で皇軍と共に北大山突擊に奮戰將軍の戰勝を築いた勇士で碑文は將軍が部下のために書いたものである

學生作文發表會 卅一日に繰上

官幣大社熱田神宮遷座祭は十一月一日執行され、當日は在京各官廳、滿鐵會社その他休業することになつてゐるが、これがため一日西廣場小學校講堂で開催される豫定であつた新京教化聯盟主催、明治節の行事の一つである學生作文發表會は三十一日午前一時からに繰上げられることゝなつた、なほ當日の出品に對しては各校より優秀なるものを選定發表し、これにメタルを附與して表彰する、なほ發表後明治會古賀氏の明治節に關する講話あるはず

滿鐵社員會の 精神作興運動
三日間の行事決る

滿鐵では十一月一日から三日間各地一齊に精神作興運動を實施するが、これに關する新京社員聯合會の打合せ會は既報の通り二十八日午後四時から地方事務所長室で開かれた結果左の通り行事を決定した

第一日(一日)

一、午前六時三十分新京神社で宣誓式を擧行、次第左の通り

1 開會の辭
2 一同神社に禮拜
3 宣誓文朗讀 聯合會長
4 總裁訓示 河本理事
5 式辭 聯合會長
6 社歌合唱
7 閉式 修養部長

第二日(二日)

一、業務精勵日
一、傷病兵慰問、傷病兵慰問には專ら婦人社員が當り菊花贈呈、琵琶演奏などあり、公傷社員に對してはそれ慰問品を贈る
一、各分會毎に適宜適當なる行事を實施のこと

第三日(三日)

一、新京教化聯盟にて行ふ市民奉祝式、講演會、演劇の夕その他の行事團體參加

邦人宅に强盜

二十九日午前一時頃新京寛城子街道朝陽街別宮唯夫(四〇)同高橋武雄(三〇)方に鐵棒と懷中電燈を所持せる三人組の强盜が侵入し家人を强迫し現金二十圓、洋服三着、オーヴァー一着其他衣類數點を强奪逃走した屆出に接した日滿警察では目下犯人嚴探中

首都警察廳 日系警官昇進

首都警察廳では日系警察官の成績優秀者左記七名に對し二十八日昇進辭令を發表した

長通路警察署 巡官 園木登
警務科勤務 巡官 田中一夫
警務科勤務 巡官 工藤長良
任警佐(各通) 警長 桑原正治
同 加藤直八郎
任巡官(各通) 雇員 福島米三郎
同 米村辰雄

長春懷古會 來月二日夜曙て

古い長春時代から在住してゐる人々が集まつて一夕長春を懷しむ會を催さうといふ企てのあることは既報の通りであるが愈よ來月二日の午後六時市內三笠町の料亭曙へ會合することゝなつた、會費は金十圓、出席者は豫め日の出町新滿社荒川方(電話二三八七番)又は永樂町新京日日新聞社十河方(電話三二二五番)へ申込まれたいと、締切は十一月一日中

情婦を賣り 藝妓に夢中

本籍德島縣生れ山田荒一(三三)は本月初め頃情婦根本富美を伴つて來京十七日富美を前借六百圓で城內料亭新樂に藝妓として賣り込み山田は內四百五十圓を持つて姿を晦したので富美より新京署に山田の搜査願を出し各方面を搜査中山田は富美を賣つた金をもつて扶桑旅館に泊り込み情婦たる日本橋通り料亭開花の藝妓某に夢中になつてゐることを探知した富美は二十八日扶桑旅館に躍り込み山田の部屋で双方激論の後毒藥を嚥下し自殺を圖り目下善生堂醫院で加療中であるが生命危篤、山田は目下新京署に於て取調べ中

街の日記

濱田鐵道營業課長挨拶 奉天鐵道事務所營業課長濱田有一氏は新任挨拶のため二十九日午前本社を來訪した

門田警部おめでた 新京署衛生主任門田警部の夫人は二十八日女兒分娩母子とも健全の由

光明影戲院 昨日上棟式 城內永春路(西市場の西北に當る地)に川崎工務所施行により新築中の滿人映畫館たる光明影戲院では昨二十八日午後四時から上棟式を擧行した

伊關の優秀受信機 ナ・オラ・ナショナル・テレビアン代理店日本橋通電氣の店伊關商店では今回素晴らしい音量と確實な分離と廉價の三拍子揃つた米國製ナイト受信機が着荷、賣出したが同機は豫てラヂオ・ファンから優秀な聽取機として定評あり且つ待望の品とて素晴らしい賣行きであると

銀麗一週年サービス 入船町二條橋々畔のカフェー銀麗では過般來店內の一大改裝中であつたが此の程其落成を見たので愈々二十八日から華々しく開店一週年記念サービスデーを催し來客に粗品を進呈する外麗人達のスペシャル・サービスを以て大いに歡待惱殺の趣向であると

エスヤ洋服店 新京特別市豐樂路四一二に宏莊な店舖を有するエスヤ洋服店では豫てから新築中の新京銀座に於ける支店が二十八日より開店の運びとなつたので同支店內に既製品專門部を設け優良な生地と最新流行の柄でスマートな洋服を廉價で顧客に提供するそうである

あす(三十日)

△教育勅語下賜記念日
1、各初等學校教職員神社參拜 午前七時
2、各初等學校勅語捧讀式 同九時十分
3、各初等學校母の會 同十時授業參觀 同十一時懇談會
△南嶺記念碑募金締切り
△干軍政部大臣一行、日本に於ける大演習見學に午後二時出發
△大村滿鐵副總裁就任挨拶、同九時十分ヤマトホテル納涼園(在京社員のため)

今晩の主なる放送番組

▲七・〇〇新日本音樂詩曲「よき空や」外二曲(東京)▲七・三〇合唱メシア「救世主」-京都同志社榮光館ファウラー講堂より中繼-▲八・〇〇ラヂオ小說荒木又右衛門(三)(東京)市川八百藏

けふの銀相場

國幣對金票 一〇〇・〇〇錢
鈔票對金票 一一四・七〇錢
國幣對鈔票 ー
現大洋對鈔票 ー

松野電々社員 挨拶に來社

電々會社總務部文書課の松野節氏は二十七日から同社員全部が新京移轉が始まつたので二十九日挨拶に來社

磐越線列車椿事

【福岡國通】磐越東線列車顚覆慘事の犧牲者中二十八日午前九時までに判明せる死者は十一名、重傷者十三名、輕傷者三十六名で重輕傷者は郡山市太田病院並びに川前驛前の民家に收容手當中である

早慶戰 早大押され氣味

第一回戰で四ー四の大接戰を交へた早慶二回戰は二十九日午後二時三分から神宮球場で藤田(球)片桐、永澤、横田(壘)四審判の下に早大先攻で開始された、この日早大は若原投手が負傷して出場されないので慶應に押され氣味である

早 3000000
慶 00000000

早大 8谷川 6竹白 5高須 4兒島 7長野 9永澤 3吳 2伊藤 1近
慶應 9平桝 6勝川 3岡 5本田 7中山 4山田 2櫻井 1土井 8國方

社員卓球大會

滿鐵社員俱樂部主催の社員卓球大會は來る十日午前十時から白菊町會館で男子A、B組女子A組のトーナメント式で花々しく擧行、申込者は五日までに地方事務所社會係まで申込まれたいと

新京中學校の 武道場開き

新京中學校ではこのほど完成した武道場開きを兼ね武道小會を二日午後零時三十分から開催する

弓道部納會成績

既報=新京體育聯盟弓道部主催の本年度納會の成績は左の如くである

等	點	氏名
一等	一五點	關口
二〃	一五〃	藤井
三〃	一五〃	白石
四〃	一四〃	諸井
五〃	一四〃	柿田
六〃	一三〃	入江
七〃	一三〃	串間
八〃	一三〃	高橋
九〃	一二〃	松山
十〃	一一〃	河西

一昨日曜の晝、モナミの榮子と繁子、颯爽と馬車を南方へ驅つてゐたが、姉妹一緒に何處に行つたのか知らん、擦れ違つて氣になつた▼吉林に行つた人の話を聞くと、キャピタル出身の明村壽代孃、日滿會館喫茶部で評判がいいらしい、以前から「優雅な情調と容色の持ち主」(この一語、滿洲ダンス年鑑といふに據る)として知られた人、吉林へ行つたら寄つて下さい

天氣と氣溫

明日の天氣 南西の風晴
日の出 午前六時十二分
日の入 午後四時三十三分
月の出 午前九時八分
月の入 午後五時五十二分
けふの最高 十一度
氣溫 最低 二度九

開原郵便局長に 廣瀨圭造氏

新京中央郵便局から開原郵便局長に榮轉の廣瀨圭造氏は二十七日告別挨拶に來社した

商船出張所長 更任披露宴

大阪商船株式會社新京出張所長更迭披露宴は二十八日午後六時から市內大和通り公記飯店へ日滿各界の代表八十余名を招待、開宴に先だち渡部大連同社支店長、村井、坂井兩氏更任挨拶を述べ村井氏の告別の辭坂井氏の就任挨拶、來賓を代表して田中交通監督部長の訓辭があつて開宴歡談一時間余で散會した

映画と演藝

音樂同好會の提唱 (三)

眞殿星磨

興行は水物と云つて儲かる時も損する時もある。それは觀客が來るか來ないか蓋を明けて見ぬと判らぬからである。音樂同好會は資金を持たぬからそんな危險な仕事は出來ぬ。只會員が或程度迄責任を持つて賣つて呉れる、切符の見込數が資本である。併も之は非常に確實である。だからこんな會が結成され、會員が此國都新京の文化向上の爲純藝術的の音樂舞踊を紹介しやうとの熱意を持つて、切符を賣るやうになれば恐らく今後日本を訪問する程の大藝術家は皆此地に呼ぶことが出來るだらう。新京がそうなれば大連も助かる態々滿洲迄來て演奏するのに一ケ所よりは二ケ所三ケ所の方がギヤランチイが安くなるのは當然であらう。

最近のニユースとしては西班牙の舞姫世界一のカスタネツトの名手と言はれてるリオキチが、十一月中旬日本訪問の途次新京を通過する。之は幸ひに新京教化聯盟の手で日本に於けるフアストステーヂを此地で踏ますことが出來そうである。

世界的オペラ歌手、嘗てトーキー「ドンキホーテー」の主演で吾等を魅了したシヤリアピンも一月頃日本へ來る。これなども是非呼びたいものである。

○

私は「音樂同好會の提唱」と題したが決して未だ發起するのではない。それには私の力は弱過ぎる。只此思ひ附きを廣く一般に訴へて批判を請ひ、若し幸いに同感の士を得れば其の人達の力に依つて何とか具體化して貰ひたいと思ふのである。新京には藝術に對する理解の深い有名の無名の士は頗る多いやうに見受ける何卒國都新京建設事業の一として、此問題をとちつて下さるやうお願ひする(完)

新京キネマ あすから ""寫眞替り""

—殺人光線完結篇—

新京キネマ三十日よりの番組は前週「殺人光線」「炬火」二篇の解決篇に「足輕出世譚」を加へて三本立である

△ユ社「殺人光線」原作エラ・オニイル、脚色ヘツト・マンハイム・ベシル・デツキイ、ジヨージ・モーガン、監督ルイ・フリードランダー撮影リチヤード・フライアー主演オンスロウ・ステヴンス、今週は第六篇より第十篇までを後篇として公開される、恐るべき人間タンクの出現により復讐の血

戰が開展され遂に科學の勝利が叫はれるまでの經緯が物凄い活劇となつて展開される前篇以上の昂奮篇である

△日活現代「炬火(後篇)」前篇田園篇に次ぐ都會篇、愛しつゝ別れ〳〵に都會の喧騷に卷込まれた雄作と光枝の前に可憐な乙女新子が登場した、生活の苦惱と闘ひ乍ら因襲への反逆に炬火をかざした二人の行手に果してどんな解決があつたが

熊谷久虎の手堅い描法がそれを物語る

△千惠プロ「足輕出世譚」山中貞雄監督作品、微笑しく皮肉なる然も明朗性ある諧謔篇である、キセル廻しから展開されるこのお話は指一本突出して稀代の出世にありつく驚くべき眞理の教訓である、近頃氣勢のあがらぬ千惠プロの作品は昔の作品を復習してみる方が愉しめる

映畫ニユース

▲ヨセフ・フオン・スタムバーク氏は目下ドストエフスキーの名作小説を映畫化した「罪と罰」を監督してゐるが、主演者はエドワード・アーノルド、ペーター・ローレ、ダグラス・ダムブリル等の顔振れで、脚色にはS・K・ローレン氏があたり、撮影にはルシアン・バラード氏が擔當してゐる

▲エミール・ヤーニングス氏の次回主演映畫はアルノ・ホルツの劇「トラウムルス」に依つた同名の映畫と決定カール・フレーリヒ氏がジンデイカート・フイルム社のために監督製作するものである、そのシナリオはエル・アー・シユテムレ、エーリツヒ・エバーマイヤーの兩人があたる

▲日活では從來月二本のトーキーを製作提供してゐたが先程一躍月四本の製作を發表した

線の地平線

日活東京、東西兩大朝に連載された横山美智子原作一萬圓懸賞當選小説の映畫化、荒牧芳郎脚色、阿部豐が監督する、美貌のダンサー奈津子を中心に描き出される果しなき愛慾の葛藤を、鋭利なる追求的觀點より解剖してみたもので、線の地平線に一切の解決を見出す人々の清淨な氣持が、ある暗示を提供するといつた内容である、主演者は水久保澄子に代つた星玲子、岡讓二、中田弘二、小杉勇、村田智榮子、西條エリ子等、キヤメラは碧川道夫、近日新京キネマ上映、スチールは星玲子の奈津子

雜音

最近某紙の演藝欄をみると力を入れてゐるのであらう頃に色んなものが轉載されて活況を呈し甚だ結構と喜んでゐたが、二十九日附夕刊の「シネ哲學」と題する漠々生の一文は、キネマ旬報十月一日號所載北川冬彦氏の「捨身禮讃」その儘の剽竊であつた、かゝる醜行爲は文筆を業とするもののかりにもなすべき事柄ではなく、文筆道徳の上から言つても絶對に排撃すべきものである、北川冬彦の名前をなぜ敢て漠々生におきかへたか、その理由を問ひたいのである、キネマ旬報が新京市内だけで何部はけてゐるかを知つたら、その無謀さに自ら一驚するものがあらう

▲「雪之丞變化」「殺人光線」共に大好評、一昨日日曜日の常設館の賑ひは大したものであつた話を聞くと當然のところと、案外なところとあつたやうで、興行の可笑味を教へてくれた

××今日の演藝界××

△長春座—三十日まで、林長二郎、伏見直江の「雪之丞變化」岡田嘉子、川崎弘子「麗人社交場」ブラウンの「爆裂珍艦隊」其他ニース

△新京キネマ—二十九日まで千惠藏の「武道大鑑」夏川靜江の「炬火(前篇)」オンスロウ・ステヴンスの「殺人光線」第一篇より第五篇まで

居住消息

▲松村龍治氏(千葉縣)公主嶺から錦町三丁目第三錦ビルへ
▲米良義一氏(大阪府)祝町五丁目六番地へ
▲糸山國麿氏(福岡縣)日本橋通り四十二番地へ
▲谷上仙次郎氏(香川縣)鞍山から千早町七番地へ
▲森市松氏(靜岡縣)奉天から山吹町山吹寮へ

轉居

▲藤岡豐三氏平安町から和歌山へ

出生

▲守屋吉男氏(室町四丁目七番地)長女秀美さん二十日出生
▲田中勇喜氏(日本橋通り八十四番地)長男武喜さん二十一日出生

死亡

▲白藤由太郎氏(八島通り三十二番地)妻シカさん二十五日午前七時五十五分死亡
▲西村英吉氏(常盤町三丁目十一號)二十七日午前五時二十分死亡
▲祝清野さん(朝日通り八十九番地)二十五日午後三時死亡

十舊月十三月十四日　水曜 己卯 先勝 執 壁宿 日

●一白の人　意見を互に主張し衝突を見事業瓦解すべし丙と地と壬が吉
●二黑の人　一致協力は勢を加へ難事も通達するに至る申と庚と壬が吉
●三碧の人　盡力の割合に功果現はれぬも倦かず努めよ丙と庚と辛が吉
●四綠の人　暗略を縱横に發揮して大成功を齎すべき日丙と庚と壬が吉
●五黄の人　運氣平順なるも煮え湯を呑まさるゝ苦あり申と辛と壬が吉
●七赤の人　氣力を注ぎても無効に歸せんとする不運日甲と庚と壬が吉
●八白の人　剛健質實なれば益々吉祥加はり來る大吉日未と申と庚が吉
●九紫の人　迷ひを去りて定業を勵めば諸事好轉する日丁と辛と癸が吉

鐵路總局の收入 三千萬圓增加
明年は鐵道施設改善に努力
龜岡經理處長語る

【奉天國通】總局明年度豫算は事業費三千六百萬圓、經常費豫算一億二千萬圓合計一億五千六百萬圓で營業收入豫想は鐵道收入九千萬圓、自動車水運並に附帶事業收入三千萬圓に上つてゐる、而して本年度收入豫想は北鐵接收並に新線の增加により鐵道收入八千萬圓、附帶事業その他收入三千萬圓、計一億一千萬圓で昨年度に比し約三千萬圓を增加の見込みで全滿鐵道網整備に伴ふ健全なる營業狀態を如實に示してゐる總局豫算編成並に營業狀態に就き龜岡經理處長は廿八日記者團との會見に於て左の如く語る

總局豫算は滿鐵特別會計を爲してをり監督官廳の關係並に刻下の滿洲國國防上の見地から絕對不公開とされてをり隨つて數字的なことは發表出來ない、本年度事業費關係に於ては北鐵接收に要した巨額の臨時經費のために可成り大きな影響をうけたが事業費の見透しは漸くついた、國鐵は培養線としての本義に基き線路輸送量增加を目標に鐵道施設の改善に邁進せんとするもので來年度事業費も本年と大體同額であり各種費用計上による負擔なく相當圓滑に運用せられるものと豫想されて電信電話の增設、車輛新造方面に主力が注がれる筈で總局の本年度營業の收支比率は八〇パーセントで北鐵買收による滿洲國國債及び滿鐵投資に對する利子の一部を支拂ひ充分に收支のバランスがとれてをり總局財政五ヶ年計畫の完成を目標に健實な步みを續けてをり將來時日を追ふて向上の一途を辿ることと確信する

八幡製鐵所を視察して廿八日大阪に到着大阪の鐵工場方面を視察の上三十一日上京、五日まで滯在の上日本鋼管、芝浦製作所等の工場を視察、日本品の實際を見た上支那向けの注文を發することになつてゐるが天津方面には歐米ものゝ鐵丸棒、鐵板等約五萬噸が輸入されてゐるので上海方面と共に日本の鐵製品の有望市場とされてゐる、尙ほ先般の上海鐵業者の一行は歸國後早くも鐵丸棒等の注文を寄せ民間の經濟提携として極めて好影響を示し前途を期待されてゐる

日本鐵の進出期待さる

【東京國通】日支經濟提携の氣運に乘じた三井物產は今回の訪日經濟視察團に先んじて上海中心の鐵物業者代表を招致して日本製鐵市場の開拓に先鞭をつけたが更に天津市場の開拓を目指して同市中心の金物業者十二名を招待、一行は團長周廸許氏の引率の下に

日本石油 五分配當案可決

【東京國通】日本石油は廿八日午前十時より株主總會を開始し當期利益配當一分增の五分案を附議承認した

大連現物大豆 受渡し開始さる

【大連國通】建成與、同興昌の不渡り及び期限到來の現物大豆受渡しは解決案通り大連取引所大廣間に於て二十八日朝より事務を開始したが取引人組合は證券及び差金の授受を豆信會社に委託して行つてゐる、而して建成與、同興昌と相手方との間の受渡しは二十八日中に完了の見込みである、一般受渡しは手續きに可成り手間どるが大體二十八日中に濟ますやう取引人も組合信託及び取引所側も懸命に努力してゐるから二十九日に持ち越すことはあるまいと觀られてゐる、而して證券不足の爲組合發行の代用證券（混保大豆引換承諾書と稱す）を利用する向きは相當ある模樣である、尙ほ特別委員會は午後四時開催された

鐵路總局の 基本倉敷料

【奉天國通】基本倉敷料（屋內）百キロ一日につき

一級品　一分　二級品　一分
三級品　一分　四級品　一分
五級品　一分　六級品　一分

倉庫營業驛

京濱線＝双城堡、三岔河
濱州線＝對青山、滿溝、安達、昂々溪、海拉爾、滿洲里
濱綏線＝烏吉密河、一面坡下城子、綏芬河
八區碼頭線＝八區碼頭
道裡碼頭線＝道裡碼頭
濱北線＝海倫、綏化
平齊線＝鄭家屯、チチハル
奉山線＝錦縣、皇姑屯、溝幫子
河北線＝河北
奉吉線＝奉天總站、瀋陽、山城鎭、海龍
京圖線＝吉林、圖們
拉賓線＝濱江、五常、三果樹
碼頭線＝三果樹、碼頭

遣伯經濟 使節一行 七ケ月振り歸朝

【神戸國通】遣伯經濟使節平生三郞、伊藤竹之助氏の一行は廿八日午後四時半七ケ月振りで神戸入港の照國丸で歸朝した、尙同船でカルカッタ三宅總領事も歸朝した

帝國農會々長 酒井忠正伯再任

【東京國通】帝國農會の通常總會第一日は廿八日午前十一時より農會講堂に於て開催、全國より六十名の議員、特別議員、農林省より農政課長等出席し會長選任を滿場一致で可決、前會長の酒井忠正伯を再任可決した、副會長は各地方よりの委員によつて選任の筈である

熱田神宮遷座祭 組合銀行休業

來る十一月一日は熱田神宮遷座祭につき新京組合銀行團は休業する

安田大汽社長來京

大連汽船株式會社社長に就任した安田柾氏は吉富同社常務取締役、島田同社庶務課長を帶同し新京各方面に就任挨拶の爲廿七日午後五時半着列車にて來京した

東北五縣の 飯米窮乏で
政府米の拂下要望に決定

【東京國通】昨年の冷害で餓死職線を彷徨した東北六縣の中山形縣を除く靑森、岩手、秋田、福島、宮城の三縣は本年も相當の冷害で飯米窮乏の町村が四百餘戶あるので廿八日午前十一時より東京府會事務局に前記五縣の縣會議長、副議長等が參集協議の結果政府に對し飯米として政府貯藏米の拂下げを要望するに決し廿九日岡田首相を始め內務、大藏、農林の三省以下關係方面に陳情する筈

土建ニュース

▲決定工事　●市公署
▲新京特別市營豐樂市場新築工事
落札　四萬六千八百圓　四先公司
　　　四五、八〇〇、〇〇　同公和公司
　　　六三、八〇〇、〇〇　辰村組
　　　五九、六〇〇、〇〇　松本組
▲切符及馬車給水所移設工事
　　　七三、〇〇〇、一〇　長谷川工務所
　　　四四、四五七、〇〇　吉川組
　　　六二、四〇〇、〇〇　池內市川組
示談決定、一千四百四十五圓四十八錢　大信洋行
　　　神谷工務所
　　　滿洲電氣
　　　荻澤組
▲十里河驛三六四K五〇四米十里河橋梁上線S曲線改良其他
落札　二千九百九十四圓三十錢　今井組
　　　井上組
　　　白川組

中谷の置時計　日本橋通　中谷時計店　電三一三六八・五七五四番

長春酒

滿洲に於いて生きた經濟評論の行はるゝこと餘りに少いのは、われらをして些か寂しさを感ぜしめるものではあるまいか、僅かに僚紙滿日の、時々の經濟解說と大連商工會議所の月報を除いては「滿鐵調查月報」に偏し、滿洲國諸官署の公刊物はやはり枠を着けた感じを脫け切れない▲かのオイゲン・ヴアルガがこの數年に亘つて三ケ月目每に世界經濟の動向をくまなく調べ、突つ込みそれへの批判を發表しつづけてゐる精力的な奮鬪は、よし見解の相違はあるにしても人々を畏敬せしむるだけのものはあらう▲われらは滿洲經濟に關しても、自由な言說と憚るところなき批判と、そしてアップ・ツー・デイトな輿論が造成され普遍され、此の土地に生きるものゝ生活の糧となつて行くことを希はざるを得ない▲「黑ずめる屋根屋根をゆく鳥かな」

商況欄（十月廿九日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊	二九片一六分五
同　先限	二九片八分一
紐育銀塊	六五仙八分三
孟買銀塊	六七留比二分一
米英爲替	四弗九仙八分五
米日爲替	二八弗七四仙
米支爲替	三三弗六二仙
スチール	四六弗四分三
アナゴンダ	二一弗八分七
英日爲替	一志二片五分三
英支爲替	
英佛爲替	一四弗一六分七
印日爲替	七七留比八分五

▲米棉

現物	一一仙二五
十二月限	一〇仙八五
一月限	一〇仙八三
三月限	一〇仙八六
五月限	一〇仙八九
七月限	一〇仙九一
十月限	一〇仙八六

▲印棉

ブローチ	二一四留比
オームラ	一九六留比
ベンゴール	一五〇留比

▲市俄古小麥

十二月限	九七仙四分一
一月限	九六仙四分一
三月限	八七仙八分一

▲カルカッタ麻袋

靑筋	二四留比八分七
蝦筋	二二留比一六分三

金銀市況

●上海標金

昨引	一一三〇、五〇	
本寄	一一二七、〇〇	
步		

●大連金鈔票

寄付　引　出來高　十二月十三日限　十二月廿八日限

爲替相場

●大連鈔票銀大洋　引　出來高　不申來
●奉天國幣金票　現物　十一月廿八日限
●奉天國幣鈔票　現物　十一月廿八日限　寄　引　出來高　不申
●哈爾濱國幣金票　現物　十二月十三日限　十二月廿八日限　本寄　引　出來高　不申
●安東國幣金票　現物　十二月十三日限　十二月廿八日限　本寄　引　出來高　不申

▲上海爲替
▲日本向
第一回賣買　一一六、二五
第二回賣買　一一六、七五
第三回賣買
第四回賣買
▲倫敦向
第一回賣買　一志四片　一六分五一
第二回賣買
第三回賣買
▲紐育向
第一回賣買　三三弗　一六分五七
第二回賣買
第三回賣買

▲大連爲替
▲上海向
一〇二、五〇　一〇一、六〇
一〇二、二〇〇　一〇一、一二八
一〇二、三〇〇　一〇二、二〇〇
一〇二、二〇〇　一〇二、五〇
一〇一、八〇
▲臺灣向
一〇三、四〇〇　一〇三、七〇〇
一〇三、二〇〇　一〇三、九〇〇

特許 F.H.スチーム・トラップ
純國產　優秀最新型　萬事自動的
瓦斯體類ノ自動排出
凝結水ノ流動ニ依ル「ウオーターハンマー」作用ヲ完全ニ防止スルコトヲ得
製造發賣元　比留間福太郞商店　東京市芝區新濱町四丁目三番地　電話芝(43)一八七二番
カタログ進呈

株式相場

▲阪神日米爲替
第一回賣買　二八弗　一六分二五
▲阪神日英爲替
第一回賣買　一志二片　一三分三一
▲大阪株式（短期）
大新　寄　引

▲大連株式（短期）

	寄	引
鐘新	一四三、〇〇	
東新	一六五、六〇	
日產	八〇、一〇	八二、二〇
五品	三三、六〇	三三、八〇
豆新	一七四	
錢鈔	一三三、四〇	一六五、四〇
東新	六〇、五〇	
滿鐵	三五、五〇	
二新	八〇、二〇	八〇、二〇
日產		
鐘新	一四一、六〇	

▲奉天株式（短期）

	寄	引
滿取	一六、九〇	一七、一〇
東新	一六二、九〇	一六四、〇〇
大新	九七、五〇	九八、〇〇
日產	八〇、五〇	八〇、七〇
五品	一七、〇〇	
豆新	三三、七〇	
鐘新	一四一、七〇	一四一、八〇
滿鐵	六〇、八〇	六一、九〇
二新	三五、九〇	三五、七〇
電甲	一六、八〇	一六、九〇
同乙	一三、二〇	一三、一〇
東拓	一五、八〇	一五、四〇
滿興	二四、七〇	二四、八〇
東亞	一〇、六〇	九、五〇
優先	一八、八〇	一八、四〇
滿毛	一七、九〇	一八、〇〇
日疊	三六、六〇	三八、〇〇

商品市況

▲大阪棉糸

	寄	付
十月限	二二二、〇〇	二二一、一〇
十二月限	二二〇、五〇	二二〇、五〇

▲大阪棉花

十月限	二二三、〇〇	二二一、一〇
十二月限	二二〇、五〇	二二〇、五〇
一月限	一〇八、四〇	一〇八、一〇
二月限	一〇六、五〇	一〇六、一〇
三月限	一〇五、一〇	一〇五、五〇
四月限	一〇五、一〇	一〇五、一〇

▲大阪人絹

當限	六三、四	六三、五〇
先限	六二、一五	六二、一〇

▲大阪人絹

當限	六六、五〇	六六、五〇
先限	六六、四〇	六六、五〇

●大阪期米

當限	三〇、九八	三一、九五
中限	三一、一七	三〇、〇九
先限	二九、九七	二九、九五

特產市況

●哈爾濱大豆

十二月限	一、一三〇	一、一七五
十二月限	一、〇〇〇	一、〇一五
一月限	一、〇〇五	
出來高	三〇〇車	九八五

●同小麥

十二月限	一、四三七五	一、四三七五
十二月限	一、四六二五	一、四六〇〇
一月限	一、四九五〇	一、四七五〇
出來高	五七車	

▲神戸豆粕

十月限	四、四五	四、四五
十一月限	四、二二	四、二二
十二月限	四、〇五	四、〇五
一月限	四、〇六	四、〇六
二月限	四、〇八	四、〇八

新京取引所市況（十月二十九日前場）

●大豆
現物（一石値段）
定期（混合百片値段）

	寄	引	出來高
現物	―	―	―
十月限	―	―	―
十一月限	四、四〇	四、四〇	五五車
十二月限	四、三〇	四、三〇	二三車
一月限	―	―	―
二月限	―	―	―
三月限	―	―	―

高粱

現物	―	―
十月限	―	―
十一月限	―	―
十二月限	―	―
一月限	―	―
二月限	―	―
三月限	―	―

●鈔票對金票

	圓	圓
	十三日限	二十八日限
寄	二五、〇〇	二四、八〇
引	二五、〇	二五、〇〇
出來高	萬千	萬千

●國幣對鈔票

	十三日限	二十八日限
寄	八七、一五	八七、一五
引	八七、一五	八七、一五
出來高	萬千	萬千
國幣對金票		
鈔票對金票		
國幣對鈔票		
現大洋對鈔票		

東清鐵道開通頃の 大連港の狀態
一九〇三年關外鐵道も開通

支那海關の記錄によれば、一九〇二年に於いて、大連の貿易額は約四百〇六萬八千ルーブルで、そのうち九九％强（四〇四〇千ルーブル）は輸入であり、輸出額は僅かに二千七百ルーブルに過ぎなかつた。その內容は、ロープ、ワイヤー、玉蜀黍、及び少量の糧が芝罘に輸出されたものであつた

東淸鐵道開通の頃には、大連港築港工事はすでに第一期計畫を完了し、十五フイート乃至十八フイートの水深を有する埠頭延長六十三サーゼン（一三四・四メートル）及び水深十八フイートを有する埠頭延長百五十サーゼン（三二〇メートル）及び四百平方サーゼン（一八二〇・九平方メートル）の倉庫を建設し、一九〇三年三月よりは、「モンゴリヤー」及び「マンチユリヤ」の二汽船を以て上海及び長崎航路に從事せしめ又義勇艦隊所屬汽船は常に本港及び日本朝鮮、浦鹽斯德ならびに歐洲各港の不定期航路を開いてゐたのであつた。

一九〇三年には東淸鐵道とともに、關外鐵道（后の奉山鐵道）が開通した。

滿洲經濟夜話（18）

牛莊の開港以來、その貿易額は增加して行つた。それは一九〇二年には、六千百〇二萬海關兩に達した。この間には漸次、汽船並びに西洋型帆船による貿易が著しく增大したことは言ふまでもない。

×　　×

露西亞は一八九九年八月、その前年に淸國から租借權を得た遼東半島の尖端大連港に對して、露國皇帝ニコラスの名を以てこれを自由港として開放したので、こゝに滿洲は更に一つの外國貿易港を持つに至つたのであつた。大連港の開通を俟つてはじめてその背後地をもつやうになつた。

誰が殺したか（十二）
國枝史郞 氏外二氏　龍造寺瞻 畫
（上映禁止）

第二の殺人（八）

黑暗な秋の夜であつた。向島の土手から、隅田川をながめながら、人眼につかぬやうに小くなつて、同じ所を行つたり來りしてゐる一人の男があつた。

その男は誰あらう『屑屋』なのだ。

先の晚、『米久』にはいつて、皆川刑事がゐるのに吃驚して外へ出たが、女房に對する未練で一緒に連れ出したもの、ふと又、後からつけられてゐる事に氣がついたので、木賃宿へ入るなり、女房へも告げずに便所の窓から拔け出して、うまく其時は逃おはせたもの、此頃となつては、もう身の置場もないやうな氣がするのであつた。

考へてみれば、自分が、殺人に、泥棒をやつてゐると同じだ！）

會社では、氣に食はなければシ／＼こゝわることができるのだが、どうして、勞働者の方では會社に『首にするのは止せツ』と頑ばりついてゆく、權利がないのか、と

らないのであつた。

自分たちが、會社に儲けさしてやつてゐるのに自分たちが、骨も削る思ひで働いて、社長や重役達に、寒を持たしたり、藝者遊びをさしてやつたりしてやつてゐるのに、少し、氣に食はなければ勝手に首を切る！せめて『勞働組合』でも持たなかつたら、勞働者はやりきれないと思つたのに、其にはいつたといふだけで首を切る！

其を思へば、屑屋はもう、癪に觸つて、ならないのであつた。

（偉い奴等や、贅澤三昧に暮してゐる資本家なんて者は皆、上手に、泥棒をやつてゐると同だ！）

强盜をやつたのも惡いのだがそれといふのも『前科者』であるといふので、腕時計を盜んだ嫌疑で留置され、女房や子供を飢死させようとしたことから、ふて腐れた氣持になつて『まじめになつて、世渡をしようとするのは間違つてらア！』と、腹をきめて又、前にやつたことのある窃盜のしようばいに換つたのであつた、が元來は惡人でないこの屑屋が、どうして『前科』を持たかといふと、其にも原因があつたのだ

或工場に、とても、まじめな一職工として働いてゐたのがそこで出來た『勞働組合』に入つたといふので、首を切られたのであつた

工場を持てゐる、會社の社長や支配人や、重役などゝいふものは『首になる』などゝいふこともなく、假にあつても、其日から、飯が食はれなくなるといふやうなことはないのに、なぜ自分たちは、首にならなければならないか？なぜ、首になつてしまふとどうにも會社から、して貰へないのか？。

から思ふと『屑屋』は、自分もいつそ、太く短く、世の中を渡つた方がいゝと思ふやうになつたのであつた。

――そこで、致つて善良な、臆病な此上なかつた人間が、前科三犯も犯すことゝなつて了つたのだ。

とに角『屑屋』は、考へると生てゐるのが詰らなくなつて了つた、こんなに追詰られて、苦しい思をしてゐるなら、いつそ、死んだ方がいゝと思ふやうになつた、そこで隅田川の滿々とたゝへてゐる水面を眺めて、一思に飛こんでやらうかとも、考へる樣になつた。

そして、何氣なく土手の下の河淵に眼を下して、對岸の淺草の方の、華やかな燈火を眺めてゐると五六間先の左に一人の、黑い影が現れてきた。

（ヘテナ、刑事ぢやないか？）と、困つてゐると、どうやら此又、同じやうに身投をしさうな身構へをした。瞬間に、屑屋は「アツ」と叫んで立つた。

（この篇今野賢三作）

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三二一五 營業部專用三二二〇
發行人 十河榮忠
編輯人 根本勇
印刷人 水越內之介

金融機關統制の爲 內地系銀行買收へ

內地關係側も諾意を表明

次は外國銀行支店

【東京國通】滿洲國の金融機關整備並に其統制に關しては豫て荒川關東軍財政顧問の來京を機とし大藏當局を始め其他各關係方面との間に寄々方針協議中であつたが今般別な方針に依り其第一段階として先づ滿洲中央銀行をして滿洲國內に本店を有する內地系銀行の買收を行はしめる事となり此の方針の下に夫々關係方面の買收に伴ふ諸種の交渉を開始する事となつた、この內地系銀行として交渉の對象となつてゐるのは**正隆銀行を始め、滿洲、日華、吉林等數行**に及んでゐるが內地關係に於ても此の滿洲國の買收方針に對し交渉に**應ずる意志を表明**してゐるので內地系銀行の、**買收統一は案外早急に實現**されるものと見られてゐる、而して此第一段的整備を完成した滿洲國財政部當局は更に其第二段的方針として**在滿各外國銀行支店の買收**を行ふ事となつて居り、此方針の下に夫々準備工作を進めてゐるので此の實現の曉は滿洲國の金融統制も滿洲中央銀行を中心に始めて完成される譯である

續けて行くと思ふ

大連鈔票市場暴落

漸次金銀バーへの道を辿る

【大連國通】當地鈔票市場は玆數日來上海市場の奔調子に連れ市況落付かず、亂高下を續けてゐたが今日は朝來上海市場が幾分安定して來た爲之を反映し割合に手堅く保合つて居たが引際に至り滿洲國中央銀行が金融統制の第一段として在滿內地系銀行を全部買收するに方針を決定せりとの入報により市況俄然急軟化して百十五圓摑みから一氣に百十三圓六十五錢まで暴落して打止めたが後場に至り市況は一段と惡化して市場は總賣人氣となり百十二圓八十錢に寄付き百十圓三十錢まで陷落、漸く百十圓臺の大關門を劃らんとしたが利喰ひが出て漸く支へられた、かくして當地の鈔票は特産金建設の擡頭、上海の通貨不安、滿洲國の通貨統制問題等四圍の惡材料の挾擊を受け漸次金銀バーへの道程をたどるものと觀られる

“滿洲國の通貨統制 日本は勿論援助”

廿八日の會見に高橋藏相語る

鮮銀券流通撤廢論

【東京國通】高橋藏相は滿洲國の通貨統制問題に關し星野總務司長、荒川關東軍經濟顧問と廿八日午後會見したる後左の如く語つた

滿洲國幣相場を圓に結ぶ事は當然の事で圓を磅に結んでうまく行つて居ると同樣に今後うまく行くであらう滿洲國で爲替管理法でも施行する事となれば日本としても勿論モーラルサポートをしなければならぬ、又滿洲國幣制の完全な統制の爲には漸次鮮銀券の滿洲國に於る流通を撤廢して行く樣に仕向けて行かねばならぬ勿論こんな事は早急に行はれない事だが關東軍や滿鐵が國幣を使ふ樣になつて自然に國幣が鮮銀券に代る樣になればよい譯である、それは鮮銀の既得權の侵害だなどとは云ふべきでない自分の所の銀行券が流通しなくなつたといつて貸出し其他の仕事はいくらでも出來るのだから問題はない、滿洲國側としては鮮銀券を準備として更に國幣が發行出來るといふ事はない之が當然資金となつて流通し更に又國幣建の預金となつて中央銀行に歸つて來る事になれば將來は滿洲國債も滿洲國內で發行出來る樣になるであらう、もつとも今後滿洲國內の金融機關の完備と云ふ事は殘された問題であるが少くとも日滿間の爲替相場は法律的な無理な手段を取らなくも十分に安定を

軍警民間協力一致して 王道樂土の治安確保へ

（中央宣撫小委員會用ポスター）

歸國したら

爲替管理法を公布

星野總務司長熱海で語る

【東京國通】孫財政部大臣に隨伴して上京せる星野財政部總務司長は孫大臣離京後は事ら鮮銀券問題及び爲替管理問題について大藏當局及び關係方面と打合せ中であつたが、同氏の熱心なる努力は關係當局を動かし滿洲國の方針に贊意を表しこれを援助すると言ふ結果を生むに至り星野總務司長も使命を果し廿八日夜離京、同夜は熱海で休養、廿九日の特急富士で一路新京歸任の途についたが（卅一日午後九時新京着）喜びを包みきれず熱海で次の如く語つた

廿八日藏相と御會ひして最後の諒解を得、大きな懸案を片付け僕も安心した、日滿爲替をバーに安定せしむることについては隨分苦勞したが九月から今日までずつとバーで安定してゐるといふ事實が何より强味だ滿洲國としては僕が歸つてから中銀と相談して大急ぎで萬全の準備を整へる、滿洲國の通貨は既に銀の基礎を離れて管理通貨になつてゐるのだから國幣が圓と結ぶのは當然過ぎる程當然だ滿洲國幣の安定手段の一方法として僕が歸國してから爲替管理法を公布する事になつて居る、日本側では高橋さんが爲替安定の件を閣議に報告するのもその頃であらうと思ふ

第六十八議會 十二月廿四日召集決定

【東京國通】第六十八議會の召集日は廿九日の閣議に於て十二月廿四日と決定した、開院式は廿六日仰出さるべく岡田首相は右議會召集の勅語奏請手續をとり十一月早々公布される事となつた

米副大統領 外相・午餐會へ

【東京國通】廣田外相は米國副大統領ガーナー氏夫妻、下院議長バーンス氏夫妻歡迎の爲め二十九日午後零時三十分より外相官邸に午餐會を開催主賓のガーナー氏夫妻バーンス氏夫妻はネヴィル代理大使夫妻と共に出席、陪賓として岡田首相、川島陸相、德川家達公、近衛貴族院議長、濱田衆議院議長主人側から廣田外相始め重光次官、堀內、東郷、桑島各局長出席、廣田外相の歡迎の言葉に對しガーナー副大統領より日米親善を祝する挨拶があり日本料理の御馳走で午餐を共にしながら日米交驩に時を過した

昨年度內地人口 自然增加數

【東京國通】內閣統計發表＝昭和九年內地人口自然增加總數は八十萬九千九十四人である

軍縮正式回答

昨日英國政府に通告

【東京國通】海軍ロンドン本會議招集に對する英國政府への正式回答は二十日の閣議に於て廣田外相は原案を提出、正式決定を見たので上奏御裁可を仰ぎ同日午後藤井代理大使宛訓令を發し、英國政府に通告せしめた

帝國全權に

永野、永井氏決定？

―十五日頃出發の豫定―

【東京國通】海軍々縮會議帝國全權に就て廣田外相、大角海相は廿九日の閣議前に會見協議の結果左の如く內定したので來る四日の閣議に於て正式決定を見ることになつた、一行は十四、五日頃出發、ロンドンに向ふ筈

首席全權 海軍大將 永野修身
全權 特命全權大使 永井松三
ロンドンに於る海軍會議全權委員仰せ付けらる

全權隨員も 近日中に決定

【東京國通】軍縮會議兩全權の決定に伴ひ海外兩省からの隨員も近日中に決定の上發令されるがその顏觸れは左の如きものとみられて居る

△外務省側 事務總長藤井參事官 宮崎一等書記官、寺崎二等書記官（以上駐英大使館）文書課長山形淸氏ほか事務官一名、屬官三名（以上外務本省）

△海軍側 岩下保太郎大佐（近く少將に昇進）藤田利三郎大佐、光延東洋少佐、榎本書記官、溝田通譯官

制裁必至と見て 伊政府物價統制に着手

【ローマ廿八日發國通】イタリー政府は聯盟の制裁が軌道通り進行せんとする形勢を觀取し今や制裁發動延期工作を斷念したと信ぜられる、即ち政府は廿八日市價公定委員會に命じ物價制限、買入れ限度の認定、奸商暴利取締り處罰に關する嚴格な法令の起草を命じた、廿九日中に緊急發令を見る筈である、同時に政府の石油、石炭、金屬、織物の買あさり、今や全國制裁耐久に狂奔し出した

伊北軍 マカレ進擊

【アドワ廿八日發國通】イタリー軍總司令官デ・ボーノ將軍は廿八日麾下の第一軍に對しマカレ進擊の命令を下した既にバスチコ將軍のファシスト民團軍一ケ師はフレスマイ川に沿つて逐次前進を開始し廿八日拂曉アドワ戰線の前方二十哩の地點に到着した

我が嚴重抗議に接し 支那側頗る動搖

【天津廿七日發國通】灤州事件に對する嚴重抗議に支那側は頗る動搖し早くも上海、天津經濟界に重大影響を及ぼして居り、駐屯軍では萬一の場合を考慮し萬端の準備を爲し朝來緊張の色を見せてゐる

“手交と、もに 北支懸案解決交渉を開始”

高橋武官は語る

【北平廿九日發國通】高橋武官並に天津軍參謀中井少佐は廿九日午前九時より支那側在平各機關を歷訪、天津軍參謀長の名に於て重大且つ嚴重なる要求を發した、尙同時に河北省主席商震氏に對しては灤州事件並に梅津、何應欽協定違反事項の解決につき交渉を開始した、午後一時高橋武官は語る

何應欽、梅津司令官協定により北支に於る反滿抗日機關を一掃した結果北支は當然明朗化すべき筈のところ事實は之に反し支那側の誠意不充分のため藍衣社、黨員、舊憲兵等執拗に活躍し各當局又取締不充分にして之を某當局の如きは却つて之を庇護し、その行動を助成するの狀態で灤州事件など忌むべき事件の發生となつた北支に於る我軍部當局はその都度支那側に對しその反省を促してゐたが依然我意に即せずして却つて擴大の模樣あるを以て我外務當局の行はるゝ正式抗議と聯繫し、包括的に支那側各機關に警告、先づ支那をして自發的に善處せしむることゝなつた、支那駐屯軍參謀中井少佐來平し小官と共に參謀長の名を以て省主席、軍事分會主任、憲兵司令、衞戍司令、市長、警察等に對し本日午前夫々警告を發した次第である、又軍は灤州事件並に北支協定違反行爲に對し河北省主席を相手として交渉を開始した

日ソ漁業交渉頓挫

ソ聯カ代表の病氣で

【東京國通】大田駐ソ大使より外務省への報告によれば日ソ漁業條約改訂交渉に對するソ聯側代表カズロフスキー氏はリューマチスのため一ケ月の豫定でコーカサス地方に靜養することになつたので漁業交渉は當分の間我漁業組合代表有賀、ソ聯側漁業廳代表ゴルフスコイ兩氏の間に於て

一、漁獲高標準の調整
一、十一月初旬より折衝することゝなつた田でありカズロフスキー氏の病氣により漁業交渉に一頓座を來したのは遺憾とされてゐる

總バランス表に基き 大連大豆受渡し開始

―本月中に完了の見込み―

【大連國通】大連特産市場の大豆受渡し事務は廿八日より豆信會社で代行する事となり豆信に於ては受渡し事務を圓滑ならしむる爲個々の賣買錢玉表によらず定期市場の如き總バランス表によることとし昨日の受渡し事務は午後より一時中止するに至つた、此間取引所では總バランス算出を急ぐ事となり當夜徹宵してこれを完了、豆信へ廻附し豆信では廿九日午前九時より總バランス表に基き受渡し事務を行ふこととなつたが本日中には受渡し完了の見込みである尙ほ市場は本日も制限相場を撤廢せず暫く模樣を觀ることとなつた

谷參事官 今朝歸任

我が對支根本方針を現地に傳達するため渡支中の外務省守島歐亞局第一課長を迎へ去る二十五日天津に開催された總

蔣介石氏歸京

閻錫山氏と重要會見

【南京廿九日發國通】二十八日午後二時過ぎ南京に到着した蔣介石氏は同夕五時半私邸に閻錫山氏を引見、二時間半に亘つて重要會談を遂げたが同夜汪精衞、何應欽兩氏を招き閻氏を主賓に晩餐を共にした

南京政府 對伊制裁回答 內容は極秘

【南京廿九日發國通】南京政府外交部はイタリー制裁に關する聯盟の報告書接受後支那の特殊的立場からこれに對する態度を愼重に檢討しつゝあつたが此の程聯盟事務局宛回答を發するところあつた、右回答內容は公表を避け極秘にされてゐる

馮氏南京へ 六中全會に出席

【南京廿九日發國通】本朝入京せる李烈鈞氏の談に依れば失脚以來泰山に籠居してゐる馮玉祥氏は愈々六中全會に出席と決定、廿九日泰山を下り卅一日迄に着京する筈である、最近に於る閻錫山氏の南京入り、宋哲元氏の動向等から觀て馮氏の來京は當地政界に時ならぬ波紋を投げてゐる

張學良南京着

【南京廿九日發國通】張學良氏は廿八日午後二時廿分西安より飛行機で來京した、氏は六中全會、五全大會に出席し兩會議の終了まで滯京の豫定だが一兩日中に目下來京中の蔣介石、閻錫山氏等と會見、西北共匪共同防衞其の他につき重要協議を遂げる筈である

岡村少將 南支要路と會見

【廣東廿九日發國通】岡村少將は廿六日當地着、午後鄒魯、蕭佛成氏等と會見日支問題に就き意見の交換を行つたが、廿八日飛行機で廣西省の首都南寧に向つた、白崇禧、李宗仁兩氏と會見廿九日歸來の豫定である、因みに同少將は近く汕頭經由臺灣に向ふ

津田司令官 ハルビンへ

駐滿海軍部司令官津田中將はハルビン海軍各部隊視察のため二日間の豫定にて廿九日午前九時五分新京發赴哈した

熙宮內府大臣 吉林へ展墓

宮內府大臣熙洽氏は墓參のため廿九日午前七時新京發吉林に向つた

滿鐵總裁以下の 着京豫定

關東軍との懇談會に出席のため來京する滿鐵正副總裁並に各理事の着京豫定は左の如く變更された

松岡總裁 卅日午後一時卅分着飛行機
大村副總裁 卅日午前七時卅分着列車
河本、佐々木、郡山、佐藤各理事並に中西總務部長 卅日午前八時五十分着列車

廣石署長歸廳

旅順で開催の全滿警察署長會議に出席してゐた廣石新京署長は二十九日午前歸廳した

航空往來

▲沼田少佐 二十九日午前ハルビンへ
▲原田半藏氏 同
▲中田半善氏（大阪會社員） 同吉林へ
▲横尾政治氏（新京會社員） 同奉天へ
▲阿部善一氏（新京） 同
▲窪田馬吉氏 同奉天より

僅か十一歲の少年が現金六十圓を懷にして家出した、子を持つ親はもちろん一般としても考へるべき問題だ▼何がそうせしめたかといふ事は、結局どんな家庭に育つたかといふことに歸する場合が多い、何となればこうした子供の大部分は肉身の愛に缺けた不遇の哀れな子供らである▼尤も今度の事件については吾々はその眞相を知らない、從つて輕々しく批判の限りではないが傳へられる如く實の父母が存在してゐるとすればこの種の事件としては全くの異例であり、謎は一層深められる▼家庭の罪か、社會の罪か、それとも何か變つた原因でもあつたのであらうか、吾々は單なる人の子の事件として看過すべきでないと思ふ▼この子の兄といふのが、その日訪問した新聞記者に對して、他人樣のお世話樣にはならぬと公言してゐたとのことだ、鼻奮の余り口走つたものとして別に問題とすべきではないが、こうした子供を出したその事がわれ〳〵に取つてこの上ない迷惑である▼と同時に吾々は社會人としてもその一部の責任を感ずる、決して無關心では居られないのである

社説

建國當時の緊張ありや
日本國民の眞の正義の道へ

一

讀賣新聞顧問、山崎靖純君が最近發表した「滿洲國を視る」と題する一文は、甚しくわれわれの注目を惹いた。そのうちの一節については去る二十五日付本紙夕刊經濟欄でも觸れて置いたが、筆者はこゝに更にそれを取りあげて少しく考察することをゆるして貰はうと思ふ。

二

山崎君は書いてゐる。「日本は農産の收穫遞減とともに世界自由貿易の行詰りによつて貿易立國の基礎を根底から脅かされて居る。こゝに日本にとつては大陸に進出せざるを得ない一つの必然的要求が存在する。」これは誰でもが言ひ且つ認めてゐるところであらう。聽くべき點はその次にある。しかるに、と彼は言ふ「かゝる資本主義的或は商業的進出は―乃至はそれに關聯する思想は、大陸に於ける大衆の反感を極度にそゝる可能性がある」斯くて彼は問ふ「日本が大陸に臨む經濟的法則はいかなるものでなければならぬか？」と。彼はそれに自ら答へて言つてゐる。「も早やそれは商業的、投資的ではなくして、大陸の持つ陸の力と日本とを全的に結びつけるとともに搾取的行き方を避けることでなくてはならぬ」と。

三

批判は滿洲國の現實に向けられてゐる。山崎君は更に言つてゐる。『然るに滿洲國の經營には、かゝるイデオロギーが何處にも現れて居ない。「統制經濟」とか「王道政治」とか「五族協和」とか云ふ理想はある。「統制經濟」と云ふ標語もある。だが何故に五族協和でなければならぬか、それの歴史的意義は何か、五族協和がなぜ統制經濟を要求するか、新しい時代の社會體系とは何んなものか等々―つまりさう云ふ思想の體系は何處にも出來て居ないやうだ』と。

四

理想なき國民はほろぶといふ。われわれは今に於いて、滿洲國建國當初の緊張を取り戻すべきであらう。あの劍光鞘影のさ中に一身を捧げてこゝに理想の郷を打ち建てるべく立ち働いた人々の仕事を思ひかへすべきであらう。そして、實はわれわれの環境は、今日に於いてもわれわれの責務を少しも輕くし弛めさせてはゐないのだ。山崎君をして『私は大理想のない國民、大省察のない國民、指導精神のない國民、眞面目のない國民を遺憾なくこの滿洲國の鏡に於て見た』と言はしめてゐるこのわれわれの現狀ば何といふざまであることか！　山崎君の『是等の思想的缺陷は經濟政策の外に、例へば匪賊討伐に於いても人事に於いても乃至は百般の行政に於いても乃至は新京の都市計畫一つに於いてさへも遺憾なく現れて居る』といふ言葉に痛みを感じない者は愧死せよ。われわれはわれわれの日々の生活のなかにあるイージー・ゴウイングを排撃せねばならぬ。われわれはわれわれの周圍にある金儲け第一主義と闘はねばならぬ。世界歴史の現段階に對し、日本國民は正しい認識を持ち眞の正義の道を突き進まねばならぬ。

電々の移轉費なんと廿萬圓
ビール空箱が三千箱

電々會社移轉は既に社用品等順次輸送してあつたが二十七日第一回社員の移轉により愈本格的になつて來た

今回の移轉に要する經費は社員移轉旅費社用品運賃等約二十萬圓を計上されてゐる模樣であるが、現在までの輸送經過を見るに社用品荷造用にビール箱約三千箱を使用し書棚等現型の儘にて輸送し得るもの等を合せて約三十輛の貨車によつて既送されたが之に要した運賃は約一萬二千圓に上つてゐる、會社では社用品の約三分の二を濟ましたがこの外社員の轉住による世帶道具の運賃などを合すと約六萬圓の運賃が滿鐵に向けて仕拂はれることになつてゐると語つてゐる

郵便行嚢
運送狀況調査

國鐵の新線擴張に伴ひ郵便小荷物の運送も激增しつゝあるので鐵路總局では從來使用されつゝある郵便車の改造を企圖し來る十一月一日より國鐵全線の郵便車の檢査を爲すが交通部でも關係係官が便乘し郵便行囊の運送狀態を調査することとなつた

總理大臣の權限擴大 內閣官制の改正
＝內調で具體案を練る＝

【東京國通】政府は廿九日の閣議に於て內閣審議會及び調査局設置に伴ひ改廢せらるべき各種の調査會や委員會等の整理廢合の具體對策を決定することになつてゐるが內閣調査局では引續いて財政的負擔を强化し國費膨脹の重要原因をなしてゐる行政機構の改革に着手することになつた、即ち現行行政制度中最大の缺陷で國費負擔を過重ならしめて居り、弊害とされてゐるものは各省の割據主義であるが現行內閣官制によれば總理大臣と各省大臣との官制上の地位は殆ど同じ水準にあり總理大臣は單に內閣の主班たるに止まり國務大臣として對等であり何等特別な權限を有する譯ではなく各省の省務は全く各大臣の手に留保されたる狀態にあつて全體としての綜合性を缺いてゐる此の爲に各省官制は徒らに複雜化し各省割據主義の氣分を助長し國費膨脹の重要原因をなしてゐる、これ等の事實に鑑み明治二十二年來殆んど變化なき內閣官制に對し根本的檢討を加へて總理大臣の權限を擴大し時代に適應した制度に改廢しようといふのである

孫大臣一行 昨夜歸滿の途に就く

【下關國通】約一ヶ月に亘り經濟使節として日本內地を視察し各方面の要人と會談を遂げた滿洲國財政部大臣孫其昌氏一行十四名は廿八日午後十時半發關釜連絡船で歸滿したが日本を去るに臨み左の如き感想を語つた

廿年振りで來たのであつたが日本の發展振りは豫想外であつた、最も感激の深かつたのは　聖上陛下を始め奉り國民全體が日滿親善に努力して居られる事であり有難い事と感じた、又大藏省をはじめ陸海軍其他到る處で大歡迎を受けて心から感謝してゐる、新京に歸つた上今度の訪日に關する感想を纏めて發表したいと思つてゐる

素質向上に警官大陶汰
ハルビン警察廳斷行

【ハルビン國通】ハルビン警察廳で職員の素質向上能率增進のため過剩職員の一大整理を斷行する事となり廿八日附を以て全廳長の名に依つて各警察署長に通達をなしたが、その數は二百三十九名の多きに達してゐる、即ち今回馘首された職員は露人十三名滿人二百二十六名であるが退職條件良好なる爲何等の動搖をも見せてゐない、廿九日各警察署長は退職者に對し狀況說明すると共に卅一日はそれぞれ退職賜金並に賞與金を與へる事となつてゐる、而して今回の大鉈を振つた同廳では今後內容刷新の第一步として職員の素質向上に萬全の努力を拂ふ事となつた

武道大會で新京署劍道優勝

二十六日旅順で開催された南滿洲警察協會主催武道大會に劍道に優勝した新京署綾戶、山下、天坂三選手　相撲個人優勝戰に二等賞を獲得した成松選手は二十九日午前八時五十分新京驛着列車で歸京したが驛には各主任署員多數の出迎へがあつた（寫眞は振武館にて優勝選手）

鑛業登錄令施行細則制定公布（中）

第十八條　表示欄に登錄を爲すには申請書受附の年月日登錄の目的其の他鑛業權の表示に關する事項並登錄の年月日を記載して擔當職員捺印すへし

事項欄に登錄を爲すには申請書受附の年月日、受附番號、登錄權利者の氏名、住所、登錄原因及其の日附、登錄の目的其の他登錄すへき權利に關する事項並登錄の年月日を記載して擔當職員捺印すへし

第十九條　表示欄に登錄を爲すときは表示番號欄に番號を、事項欄に登錄を爲すときは順位番號欄に番號を記載すへし

鑛業登錄令第十八條の規定に依る申請ありたる場合に於て事項欄に登錄を爲すには前項の規定に依るの外債權者の氏名及住所並代位原因を記載すへし

第十六條第二項但書の規定に依り同一の受附番號を附し同一の事項欄に登錄を爲すものに付ては同一の順位番號を記載すへし

第二十條　表示欄に登錄を爲したるときは表示番號欄及表示欄に縱線を劃し事項欄に登錄を爲したるときは順位番號欄及事項欄に縱線を劃して餘白と分界すへし

第二十一條　附記登錄の順位番號を記載するには主登錄の番號を用ひて其の番號の左側に附記何號と記載すへし

前項の場合に於ては主登錄の順位番號の左側に附記登錄番號を記載すへし

第二十二條　附記に依り鑛業權又は租鑛權の處分の制限の登錄を爲すときは鑛業權若は租鑛權の設定又は移轉の登錄番號を以て其の順位番號と爲すへし

第二十三條　假登錄は登錄用紙中相當區事項欄に之を爲し其左側に餘白を存すへし

第二十四條　假登錄を爲したるときは事項欄のみに縱線を劃し其の左側に本登錄を爲し得へき相當の餘白を存したる上順位番號欄及事項欄に縱線を劃すへし

第二十五條　假登錄を爲したる後本登錄の申請ありたるときは假登錄の左側の餘白に其の登錄を爲すへし假登錄の抹消の申請ありたるとき亦同し

第二十六條　豫告登錄は鑛業登錄令第五十九條第一號に關するものに付ては登錄用紙中相當區事項欄に、同條第二號に關するものに付ては表示欄に之を爲すへし

第二十七條　變更又は更正の登錄を爲すときは其の登錄に因りて變更又は更正せられたる登錄事項を朱抹すへし

第二十八條　登錄を完了したるときは登錄原因を證する書面に登錄番號、申請書受附の年月日、順位番號、登錄濟の旨を記載し鑛業監督署長の印を押捺して之を登錄權利者に還付し且登錄義務者に登錄番號、登錄の原因及其の日附、登錄の目的、申請書受附の年月日、順位番號、登錄濟の旨を記載し鑛業監督署長の印を押捺したる書面を交付すへし

法令の規定に依り職權を以て爲す登錄又は申請に登錄原因を證する書面を要せさるものの登錄の場合に於ては前項に準し作成したる登錄濟通知書に鑛業監督署長の印を押捺して之を登錄權利者に交付すへし但し鑛業權の設定、變更又は表示の變更に關する場合に於ては鑛區圖を添附すへし

鑛業登錄令第十三條の場合に於ては第一項の書面は登錄を囑託したる官廳又は公署に送附し其の官廳又は公署は速に之を登錄權利者に交付すへし强制執行又は抵當權の實行に因る鑛業權の移轉の登錄を完了したるとき亦同し

前三項の場合に於て登錄權利者又は登錄義務者多數なるときは其の一人に交付するを以て足る

第二十九條　鑛業登錄令第十八條の申請ありたる場合に於て登錄を完了したるときは前條第一項に揭けたる書類を債權者に還付し且前條第一項に準し作成したる登錄濟通知書に鑛業監督署長の印を押捺して之を登錄權利者に交付すへし

第三十條　鑛業權消滅の登錄を爲したる後登錄回復の申請ありたる場合に於て登錄を爲すには登錄用紙中登錄番號欄に新なる番號を、其の左側に前登錄番號を、表示欄に回復の原因を記載し其の消滅前の登錄と同一の登錄を爲すへし

前項の規定は鑛業權の處分の取消の通知ありたる場合に付之を準用す

商況欄（十月廿九日後場）

金銀市況

●上海標金

前引	一二三、五〇
本寄	一二三、八〇
歩	三三、〇〇

●大連金鈔票

寄付	一二三、三〇
引	一〇八、一〇
高	一二三、三〇
安	一〇七、三〇
出來高	八〇萬

▲十一月十三日限　十一月二十八日限

寄付	一二二、八〇
歩	四〇〇

出　不　來　申

●大連鈔票銀大洋

引	一〇九、五〇
高	一二三、一〇
安	一〇七、四〇
出來高	一〇〇萬
現物	一三四、五〇

●大連鈔票銀大洋

現物	一〇〇、〇〇

▲十一月十三日限

寄付	出
引	來
高	不
安	申
出來高	

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向	第一回 買	一一六、二五
	第一回 賣	一一六、七五
	第二回 買	一一五、五〇
	第二回 賣	一一六、〇〇
▲倫敦向	第一回 買	一志四片 一六四分一
	第一回 賣	一志四片 一六四分五
	第二回 買	一志四片 六四分三
	第二回 賣	一志四片 四分一
▲紐育向	第一回 買	三三弗 四分一
	第一回 賣	三三弗 八分三
	第二回 買	三三弗 八分一
	第二回 賣	三三弗 四分一

大連爲替

▲上海向	一〇三、五〇
	一〇二、六〇〇
	一〇三、〇〇〇
	一〇三、七〇〇
	一〇四、〇〇〇

▲煙台向

一〇六、〇〇〇
一〇四、一〇〇
一〇四、六〇〇
一〇五、〇〇〇
一〇六、〇〇〇

株式相場

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一六、七〇	一六、五五
豆新	三三、八〇	—
錢鈔	一七、四〇	—
東新	一六三、八〇	一六二、九〇
鐘新	一四三、〇〇	—
滿鐵	六〇、五〇	—
二新	三五、七〇	—
日産	八〇、六〇	八〇、〇〇

▲奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	一七、五〇	—
東新	一六四、四〇	一六三、四〇
鐘新	一四三、〇〇	一四〇、五〇
日産	八一、一〇	八〇、〇〇
大新	九八、五〇	九八、〇〇
五品	一七、一〇	—
豆新	三三、八〇	—
電甲	一六、九〇	一六、九〇
同乙	一五、一〇	一五、〇〇
滿鐵	六〇、八〇	六〇、六〇
東拓	一五、四〇	一五、五〇
東亞	九、七〇	一〇、一〇
日晉	五八、四〇	五八、〇〇
滿興	三五、四〇	三五、三〇
滿毛	一七、八〇	一七、六〇
二新	三五、八〇	—
優先	一八、五〇	一七、六〇

各地市況

●橫濱生糸

	寄	引
後場		
現物	九七三、〇〇	—
當限	九五九、〇〇	九七八、〇〇

●爾濱大豆

	寄	引
十一月限	一、一二五	—
十二月限	一、〇二五〇	—
一月限	九九、〇〇	—
出來高		—

●同　小麥

	寄	引
十一月限	—	—
十二月限	—	—
一月限	—	—
出來高	一、四七三〇	—

●神戶豆粕

	寄	引
十月限	四、四五	四、四五
十一月限	四、二一	四、二一
十二月限	四、〇五	四、〇五
一月限	四、〇六	四、〇六
二月限	四、〇八	四、〇八

新京取引所市況

手形交換（二十九日）

金票	三三三枚	一三九、四七〇円九四
鈔票	一枚	五〇、四〇〇
國幣	三六枚	三九、二三六円二九

鮮魚小賣相場

百匁ニ付（廿八日）

品名	最高	最低
活タイ	一、五六	七二
氷タイ	…	…
チヌタイ	四三	二三
アマタイ	三四	二三
中小タイ	八四	六〇
カツオ	二九	二八
ブリ	四〇	二四
ヒラス	四八	…
サワラ	三六	…
サバ	二六	…
アジ	二三	二〇
カレイ	一六	一三
ヒラメ	三〇	一二
ヒララ	…	…
ボラ	…	…
コチ	[illegible]	[illegible]
コノシロ	[illegible]	[illegible]
キス	[illegible]	[illegible]
イワシ	[illegible]	[illegible]
マナガツオ	[illegible]	[illegible]
タチウオ	[illegible]	[illegible]
トビウオ	[illegible]	[illegible]
ムツ	[illegible]	[illegible]
サヨリ	[illegible]	[illegible]
カナガシラ	[illegible]	[illegible]
ホーボー	[illegible]	[illegible]
タコ	[illegible]	[illegible]
甲イカ	[illegible]	[illegible]
水イカ	[illegible]	[illegible]
イセエビ	[illegible]	[illegible]
車エビ	[illegible]	[illegible]
アナゴ	[illegible]	[illegible]
カマス	[illegible]	[illegible]
ナマコ	[illegible]	[illegible]
アワビ	[illegible]	[illegible]
カキ	[illegible]	[illegible]
シジミ	[illegible]	[illegible]
カマボコ	[illegible]	[illegible]
チクワ一本	[illegible]	[illegible]
マグロ切身	[illegible]	[illegible]
ニベ 同	[illegible]	[illegible]
ブリ 同	[illegible]	[illegible]
サワラ 同	[illegible]	[illegible]
ヒラメ 同	[illegible]	[illegible]

討匪從軍行（六）
"戰線異狀なし" 泗河城に着く

僅か廿餘の騎馬隊で匪團と遭遇した場合攻擊精神旺盛なりとは云へそうたやすくは匪團を討取る事は出來ないのだ、記者の心臟は胸苦しい程の壓迫感に押しつめられてゐる、ましてや先日〇隊長以下壯烈極まる突戰に幾多の犠牲者を出した生々しい戰場を通過するのだ、匪賊の浮動經路は凡て決つてゐる、如何なる

匪團 が眼前に現はれるか、警戒更に怠り無き騎馬隊ではあるが何分少なき兵力で目的地に達する迄は他に大きな任務を有してゐる事である、ヒシヒシと身に迫る壓迫感は太陽が西の地平線に傾き落ちるに從つて增して來る、道路は雨後の泥濘でドロドロである蹄にかけたドバッチリが無氣味に顏の邊り迄はね上つて來る、空は陰氣に曇つて今にも泣き出しそうな雨模樣である、高臺の盡くるところが四河城であるが陵線を縫ふて續く、道のりは未だ半ばにして暮色漸く迫つて來る、惡道路に疲れた馬の鼻息は可愛想な程はずむ各兵の士氣は頗る

旺盛 であるが特殊な任務を有する今日の行軍は出來る丈け匪團と遭遇戰鬪する事なく目的地に到達せねばならぬのだ大事の前の小事無暗に戰鬪は出來ぬ道路に稍々外れた林の中に幾つかの怪しげな小部落を過ぎて目的地には約二邦里を餘すのみとなつた、突然前方から約卅の騎馬隊がこちらへ進んで來る、敵か友軍か、一同の顏面一瞬サッと緊張する、ピタリと停止し體を構へ乍ら向ふを見ると向ふもピタリと止つて樣子を窺ふ如くである、睨合ふ瞬時向ふの先頭がサッと旗を翳して左右に振り始めた、夕色の間にすかし見れば嬉しや日の丸の旗ではないか「友軍だ、それこちらからも旗を振れ」と叫び乍ら近附くと四河城の

友軍 が出迎へに來たのだと判つた、「有難う」「異狀はないか」「異狀無し」倍加した騎馬隊はお互ひに近況を語り合ひつゝ途を急ぐ、聞けば十八日午後德惠縣下に於て淸田部隊は匪團約三百と激戰夜に及んだと、敵に大打擊を與へたが我にも淸田部隊長以下多數の損害があるとの事に一同切齒扼腕する、間もなく臺下の闇に四河城の街が黑ずんで現はれた、着いた着いた無事いた、迎へた者と訪れた者が先づ問ひ交すは淸田部隊其後の狀況であるそうして草の根分けても戰友の葬ひ合戰を行はねばならぬと誓ひ合ふのであつた

四河城の越智部隊長は先般勇壯なる

戰死 を遂げられた梅鉢部隊長の後任として數日前着任したばかりであつた、部下一同新部隊長を迎へて意氣天を衝くの慨があるが先般の戰鬪に大打擊を蒙つて四散した匪團は何處に集結しつゝあるのか此處數日懸命の匪情搜索網にも依然として一向に手がかりがないとの事「張り切つた部下をなだめるのに一骨です」と語り乍ら故梅鉢中尉、藤田少尉以下の遺骨安置室に導かれた、默禱しばし靈に捧げた記者に部隊長は「せめてもの慰めは梅鉢中尉以下をあやめた匪首亞東洋が昨日友軍の手に依つて隱れ家で打とられた事です」と記者にともなく勇士の靈にともなく語られた【宮崎國通特派員發】

東滿

大吉林目指して 朗々奏でる躍進譜
明年度の市制施行により 一躍五倍の大都市へ

【吉林國通】二十四日午後一時より吉林省公署に於て開催された市制會議により愈々明年早々吉林に市制斷行の運びとなつた

その結果皇室の御祖先を祀る靈地小白山、松花江と老柳に圍まれる淸遊地江南、或は內地を髣髴せしむる廣濶なる水田の美景等幾多の景勝を有する永吉縣第二區の紅旗屯、溫德河子、西團山子、東團山子、黃旗屯、大張三屯、保安屯岔路鄉、蓮花泡、向陽屯、南口欽、巴虎屯、改集街、馬家屯の十四甲は市に移管され從來一二、三二四、九七五平方米の吉林市は一躍五倍の五九四二六、三二五平方米の大都市となる譯で新たに編入される戶數五、九六七戶、人口三三、一二三二名（康德二年五月現在）を合すると當地滿人々口は優に十五萬を突破し市街整理松花江護岸大工事、各種觀光施設の充實等と併行して新京、奉天、ハルビンに次ぐ大吉林の實現に向つてこの所躍進譜は朗らかだ

違算の不足額は 鐵路局に寄附陳情
民會苦心の善後策

外務省 補助金問題

【吉林支局發】既報吉林日本小學校に對する外務省の補助金が豫想を裏切りて豫算面に計上したものの半額に止まり結局民會の收入に約九千圓の違算を來した大問題に就ては此程の議員會に於て其善後策が協議されたが結局外務省に對しては增加を嘆願するとしても其成果は餘り望みを囑し難い處から、先づ賦課金方面に就き人口の增加に伴ふ自然增收を檢討した處に依ると約八千圓位の增收はある見込みなれども、之れが全部納入されることは期待し難く別に若干の出途を求めねばならぬことになつたが、鐵路局の移轉により約四百戶の日人局員の移住があり之れが賦課金は年額八千數百圓に上るが、之等局員子弟の小學校入學生は百七十人に上つて居り、滿鐵へ納入すべき教育委託料一人五十圓として百七十人は八千數百圓に上るので局員より徵收する賦課金は全部この委託料に振向けられ、委託料以外の事務費、衞生費神社費、靑年學校費等に對しては一文も振向けられない計算になつてゐることに鑑み、鐵路局に民會の窮狀を訴へ月額五百圓位を寄附の名義にて補助されんことを請願するに決した由である

北山表忠塔 三日除幕式

【敦化支局發】豫て建設中の北山表忠塔は愈々竣工の運となつたので十一月三日明治節をトして除幕式並に招魂祭を執行することゝなつた

吉鐵兒童ホーム 近く竣工

【吉林國通】沿線從事員子弟の教育に意を注ぎつゝある吉鐵に於ては現在吉林附近各驛より吉林日本小學校に通學中の小學生を收容するため過般來工費五萬圓を以て驛前に兒童ホームを建設中であるが同ホームも大體竣工近きため目下希望者の募集をなしてゐる

而して收容は來月中旬より開始し十二月一日より正式開設する筈でこれが完成せば沿線從事員の子弟にとり學習上多大なる利便となり各關係者より相當期待されてゐる、尙吉鐵に於ては更に管內主要都市三四ヶ所に同樣兒童ホームを新設すべく目下計畫を進めてゐる

南滿

周水子飛行場の改修計畫促進
東洋一の大飛行場目指して

【大連發國通】事變以來周水子飛行場に於ける旅客並に發着郵便物數は著しく激增し昭和九年四月より同十年三月に至る旅客數は一千七百八十人郵便物數は五十三萬四千通の多きに達して居り今後益々增加の傾向にあるので飛行場の大規模な改修計畫が過般來着々進められ將來名實共に東洋一の大飛行場となる筈である

右計畫は先づ旅客へのサーヴイス改善を計る爲現格納庫前にコンクリート製航空ステーションを建設し更に到着停止位置を劃定し又送迎場の設備を施すほかに郵便受渡し所を設けて發着郵便物の整理に當る筈であるが本計畫中特筆すべきものは右工事と並んで六米幅自動車道路及び自動車駐車場を設け遞信局飛行場事務所滿洲航空會社無電室、氣象臺が新築される事になつて居り飛行場內には幅六十米長さ六百米の滑走路を三本（本年は一本を完成の豫定）設けんとするものである

大連を中心とする ハイキング道路內定
早急實現要望さる

【大連支社發】文化都市大連を中心とするハイキング道路計畫は都市計畫委員會に於て各プランを建て計畫中であるが最近內定を見た道路は左の通りで關東局の豫算の承認を得次第本格的に着工する筈である

第一路、大西山屯及王家店—龍王塘の各貯水池を結ぶ道路

第二路、大西山屯—王家店龍頭—牧城子を結び旅大裏道路に廻る道路

第三路、黑石礁—凌水寺大西山屯貯水池を結ぶ道路であるが將來大連の遊步道路ドライブ道路としての完成は各方面に於て期待されてゐる

谷山靜山畫伯 作品展覽會

【吉林支局發】滿洲第一と稱せらる當吉林の風光の美を內外に宣揚せんことに腐心してゐる市政籌備處と吉林觀光協會にては先般來鐵路局囑託として當地に滯在し市中並に沿線勝地の風景畫を揮毫中なりし洋畫家谷山靜生畫伯の作品展覽會を廿七、廿八日の兩日間民會樓上に於て開催した、畫題は文廟、北山、江岸、其他に亙り三十餘點に上つてゐるが、いづれも丹靑の妙を極め相當の好評を博してゐる

吉林國婦 皇軍慰問金品募集

【吉林國通】當地國防婦人會支部では近く發會一周年を迎へるのでこれが記念事業として目下結氷期を前にして奧地肅正工作に寧日なき皇軍を慰問するため會員約一千名を總動員して一般市民より慰問金品を募集し本月末〆切り第一線部隊に送附することになつた

吉林市政籌備處 貧民救濟に乘出す

【吉林國通】昨年來の水害、冷害等に依る地方民の逼迫に伴ひ自然吉林省城の各界共不況を呈し其日其日をどうにか過してゐた貧民階級は止むなく乞食、ルンペンの群に陷り寒さに向ふ今日此の頃のルンペン數は三百人を越へるものと云はれてゐるが市政籌備處では近くこれが積極的救濟のため市內數ヶ所に慈善箱を設け一般市民より衣類金品其他の投入を乞ひそれを寒さと飢に泣くルンペンに頒け與へることゝなつた

扶輪小學校分校 吉林に開設

【吉林國通】鐵路局吉林移轉に伴ひ滿人局員子弟の教育機關が問題となり約百四十名の學童を何處へ收容するか關係者間に於る重大問題となつてゐたが今回滿洲國當局の許可を得て吉林驛前元工務處事務所跡に新京扶輪小學校の分校を開設する事となつた開校期日は本年十一月一日より向ふ一ヶ年間でその後は市立小學校の開設を待ち同校に收容する筈である

岩磐落下 工夫生埋

【安東國通】廿七日午後三時卅分頃當地七洞溝附近にて石材採集の爲破岩工事を行つてゐた滿人工夫五名は突如崖上より落下せる岩磐の下敷となり馬五頭、馬車五臺と共に生き埋めとなつた、岩磐土砂の落下が十數尺に及んでゐるため發掘作業困難で生命なきものと見られてゐる

熱田神宮遷座祭 諸官署休み

【大連支社發】十一月一日官幣大社熱田神宮遷座祭當日は關東州廳始め市內各官衙は一齊に事務を休止する

王道を求めて ソ聯農民入滿

【ハルビン國通】國境の彼方に輝く王道の光にあこがれ滿洲國に救ひを求めて東部國境イマン方面から逃れて來たソ聯農民の一團が途中各地の溫い保護を受け廿八日ハルビンに到着したが直に各方面の斡旋で一時馬家口の罹災民救濟所に收容の上新たに更生の途を講ずる事となつた、一行は八家族四十五名（靑年男九、女十、未靑年男十六女十）の多數であるが、やがて與へられる平和な土の生活に何れも疲勞と貧困を忘れ安心と更生の希望の光をあこがれ喜々として大都市ハルビンの風物に好奇の目を瞠つてゐる、無心の子供達は大人の胸から離れて搔集めた落葉を種でも蒔く樣に土に並べて遊んでゐる

子供のお辨當には こんな注意を！

お菜が片よつてはいけない

お子樣方の毎日のお辨當はさぞ御苦心なさいますで御座いませう

◇

一、子供は遊びがはげしく御腹がすきますから御菜入れを御飯の横に一緒に入れるものよりも別に御かづ入れの箱を重ねますものゝ方がよろしう御座います。

◇

一、御辨當箱はアルミニユームの丸形よりも理研のアルマイトで出來た長方形のものゝ方が安全で御座います此頃はアルマイトの小さい飯盒で革紐のついたものなどみえますがお小さい方にはよろしう御座います。

◇

一、つめ立てのあつい御飯にすぐ御菜入を重ねない樣御注意下さい

◇

一、これから追ひ追ひ寒くなつて教室にも煖房が用意されますがスチーム等通つてあたゝまりますと前日煮たもの等には足がつき易う御座いますから御注意下さいまし。

◇

一、御菜は御魚やお肉一色でなくなる丈野菜をつけ合せる樣御工夫下さい、御飯には鰹節のかいたのをのせるとか海苔をしくとかして御辨當がおいしく召上れる樣心をお配り下さいませ。

◇

一、御香物も結構ですが淺漬等の樣に臭氣のひどいものは御入れにならない方がよろしう御座います。

◇

一、最後にいつも同じ樣な御辨當ばかりでなく時にはサンドイッチをこしらへるとかちらしずしにするとかして目先きの變つたものもよろしう御座いませう。【赤塚久子・記】

お料理獻立

大根料理二種

朝夕はそゞろ肌寒くなりまして大根畑の朝霜も厚くなり、みづ〳〵しく美味しさうな色になりました此大根のいゝところを黄味あんかけにして皮の部を胡麻なますに致しませう

（一）大根の黄味あんかけ

【材料】（五人前）大根（太いみづ〳〵しい物）五寸位 挽肉（鷄でも豚でも可）二〇匁位、豆腐三分の一挺、鷄卵一ヶ、椎茸三ヶ、片栗粉大匙一杯、鹽、醤油、砂糖、調味料適量

一寸位の輪切の大根の皮を厚くむき鹽ゆでとし、お豆腐挽肉、椎茸片栗粉、卵白を合せ味をつけたものをのせて三十分蒸し、黄味あんを大根茹汁と蒸した時の汁とに味をつけ片栗粉を合せ卵黄を入れてまぜて拵らへそれに載せます。

（二）大根の皮と油揚の胡麻なます

【材料】（五人前）大根の皮（前のお料理の殘り）油揚一枚、白胡麻大匙二杯、酢、砂糖、鹽適量

大根の皮のせん切り、油揚のせん切りに熱湯をかけ水氣を切つたものへお酢に鹽、砂糖の味をつけてふりかけ、半摺りの胡麻をまぶします。

演藝放送新人募集

惠まれない、出づべくして出なかつた伎藝者と隱れたる市民藝術家を世に送り新京演藝界の發達に貢獻するため本社は左記により演藝放送の新人を募集することゝなりました。職業人、非職業人たるこ とを問はず振つて御申込み下さい

第一回募集規程

一、申込希望者は職業人、非職業人を問はず年齡十六才以上の男女であること
一、希望者は希望種目を明細に記し出演希望書に履歷書（演藝に關する）を添へ「新京永觸町新京日日新聞社」宛御提出下さい
一、詮衡の日時場所は追つて本紙上に發表します
一、出演申込は必ず希望者自身に限ります、伴奏は希望者において取り決めること
一、合格者は新京放送局から放送を御依頼します
一、申込者氏名は發表せず、合格者氏名だけ發表します
一、詮衡委員氏名は詮衡當日發表します
一、募集種目は長唄、義太夫、小唄、浪花節、琵琶、漫談漫才、聲色の七種でその他のものは第二回（來る十二月の豫定）に讓ります
一、第一回募集締切りは十一月三日です

主催　新京日日新聞社

興味深い！刀劍の話〔十三〕

井上刀劍店主・記

昔とくらべて今日では實物拜見で直ぐ研究が出來、又秘傳と云ふものでも知つて居る者は敎へて呉れる世の中であるから、普通の國分位や海道筋位は一月もやれば大概判る樣になる。さう云ふ譯で刀の見分けは左程難しいものではない、そこで刀劍と刀劍の書物とを首引きをし實物を多く見て

研究 をしたならば、之が一番手つ取り早いことである。又判らないときは識者先進者を尋ねるのが至極宜ろしい。そして、これに依て後進者を獎勵したいのである。

茲に我が先覺の有志諸氏相計り刀劍保存會が創設され、我邦千有餘年傳來の國粹の精華を保存し、方に凋落せんとした斯技の後繼者を養成しやうとした趣旨が一度天聽に達し叡聖文武なる明治天皇陛下の嘉稱を辱ふしまして年々內帑を

下賜 あらせられ斯道を獎勵せられたのである。

次いで國內各地に散在放置してあつた神社佛閣の刀劍の中より國寶として登錄せらるゝものも多く顯はれ、又各家、各人秘藏の名刀は勿論、これ迄惜氣もなく海外へ輸出されてゐた所の無數の刀劍、鍔等もやうやく注意せらるゝやうになり、世人の閑却せし刀劍も復興の盛運となりしは我國前途の爲め大いに慶賀に堪えない所である。私は皆樣と共に前述の通り我が

皇國 日本のために日本の復興を計り、これによりて神ながらの道即ち皇道精神を涵養振作し、以てこの非常時に處したいと思ふ。身にはよし佩かずなりとも劍太刀研な忘れそ

スポーツは体育に非ず（4）

大滿洲帝國陸上競技協會 技術委員　奥勝久

スポーツに付ての歷史的發展過程の概略を前述したが、此れを人間本能性より述べて見ると、我々は社會文化の道程にあつて、一見全くそれと方向を異にする、野性を帶びた勝敗に熱狂する本能が、我々人間にあることは何人も此れを

否定 する事は出來ない。この人間本能に文化人らしい統制と衣裳を着せ、充分に文化人らしい本能的活動を働かせるものが、即ちスポーツであるので從つてスポーツには人智も及ばない嚴肅な人間性の存在がある。故にスポーツに携はるものは先づ何よりも勝敗に關する嚴正な考へを有たなければならぬ。勝敗を爭ふスポーツには先づ一定の規約を定める必要がある、その規約は競技上の所謂ルールであつて、そのルールの示す約束の下に有る限りの體力、智力技巧を盡して互に勝敗の最後に到達しやうとする、こゝにスポーツ獨特の

無限 の興味が湧いて來るのであつて本能的興味の滿足であり、此れを行ふ者は元來主として健康者である者を對象として、此等に對し一般生活以上の强度な作業をなさしめるものであるに反し始めより健康者を作ることを目的とする體育とは出發的に於て、亦其の根本に於て全く相違してゐるのである。これは體育の發生過程より見れば一目瞭然たるものがある。即ち、體育は人間の理性により、生理、衞生、解剖、心理等の學問的なものを根據とし、幾世紀にも亙つて研究創造され、今日の如き廣範圍な體育と云ふものになつたので、即ち

理性 によつて創造されたものであるから、至つて無味乾燥であることは當然のことで、一例を云へば手を擧げた場合、これが身體に如何なる影響があるか、是を擧ぐれば、どんな影響をもたらすか、上體を屈ぐれば如何とか此れを換言すれば體育は意識的、目的的に創造されたものである、故に身心の障害になる樣な事は勿論絶對に避けてゐる。亦無味乾燥と云ふ點よりして、民衆はそれが健康增進に効果的なものであると信じつゝも、等閑にふされ勝ちになる、それでは、體育の目的貫徹を期することが出來ない、故に古代に於ては

体育 を宗教的なものに結び付けたり或は國家の權力により義務の一部としたり、其他種々樣々な手段、方法を用ひられた時代もあつたが、近代に到り、デモクラシーの擡頭と共に體育の影が段々薄くなり、此れに反し英國より發せる近代スポーツに民衆が興味を持ち、洪水の如く全世界を風靡してしまつた。故に體育を民衆的なものにするには、どうしても興味を必要とするので體育政策の目的の爲に、スポーツの或る部分を取入れた、體育競技がある體育とスポーツが、社會一般に混同される唯一の

原因 はこの體育競技と云ふ少部分を見ることより端を發し非常な錯誤となつた樣に思はれる。

ラヂオ

けふの番組

三十日（水曜）（M.T.O.Y 新京放送局）

（朝）

六、〇〇 建國體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連）
引續き 入港船の御知らせ（大連）
六、三〇「滿語講座」臨時休講
七、〇〇 初等日語講座（奉天） 講師 近藤喜助
七、二〇 天氣豫報（大連）
引續き 朝の音樂（大連）
八、三〇 經濟市況（東京）
九、〇〇 音樂（レコード）
九、二〇 料理獻立（大連）
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 婦人家庭講座 靴下の繕ひ方 赤塚久子
一〇、二〇 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、〇一 經濟市況（東京及大連）
一一、四〇 ニュース（東京引續き新京）
〇、〇一 經濟市況（大連引續き新京）

（晝）

〇、二〇 晝の演藝（滿語）
〇、四〇 建國體操（滿語）
一、〇〇 京津大鼓（大連） 草船借箭 唱 鮑寶珍 絃子 王韓臣 南鼓 鮑叔朋
一、二〇 ニュース（滿語）
二、〇〇 經濟市況（大連） 引續き 日用品値段（滿語）
二、二〇 成人講座（奉天） 惟有王道能救世界 奉天省立奉天第一工科高級中學校 張敬修
二、四〇 演藝（レコード）（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連引續き新京）
三、五〇 ニュース（鮮語）
四、三〇 ニュース
四、四〇 演藝（鮮語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（大連） ピアノと唱歌
五、二五 今晩の番組（日・滿語）

（夜）

六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 氣象通報・番組豫告（滿語）
六、二五 政府公報
六、三〇 國民の時間（哈爾濱） 國民對於協和會應有認識 滿洲國協和會呼蘭分會長 王洪恩
七、〇〇 浪花節（大阪） 忠孝兩全 矢頭衞門七 京山小圓
七、三〇 チエロ獨奏 ピアノ伴奏 神保隆敏 辻野敏子
一、チョセランの子守唄 ゴダール作曲
二、ハンガリッシュ・ラプソディ ホッパー作曲
七、四五 舞臺劇（東京）
八、三〇 時報・ニュース（東京）
引續き ニュース
八、四五 ニュース・經濟市況・氣象通報・番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇 平貴別窰 公餘俱樂部票友
九、三〇 戲劇（大連） 女起解 黎明國劇研究社員
一〇、〇〇 北滿の時間（哈爾濱）（露語）
一、講演 常套的なる藝當 コロソフ
二、ニュース

ピアノと唱歌

（後五時 大連）子供の時間

一、ピアノ連彈 肩にもたれて 山崎伊津子 前田和子
二、ピアノ獨奏 紡ぎ歌 永島典子
三、唱歌 イ、須磨の秋 ロ、三保の松原 外一曲 岩崎晶子
四、ピアノ獨奏 ポロネーズ 杉本とし子

□須磨の秋

（一）素波よする、須磨のうらわ、淡路島山かげもさやか、往交ふ舟の歌にまじり吹かぬ笛きく松の木かげ

（二）名におふ山々、紅葉あかし、おちにし人の涙そむる、壽永如月のうらふかしくしげの片か岸にうくは

□三保の松原

（一）そらに花ふり音樂きこえ、奇しきかをりは四方にみちたり、三保の浦わはかげろふもえて、ひら〳〵ひるがへる天女の羽袖

（二）げいしやう羽衣の調も妙に、浦わに通ふ春のあけぼの、ふじのたかねにかすみにまぎれ、ひら〳〵上りゆく天女のすがた

□枯木原

（一）霜の小枝の月かげの凍るよふけの枯木原、はくいき白うほの見えて、われらは歩む枯木原

（二）かをりこぼるゝアカシヤを、涙もて見し若き日のその思ひ出にゑまひつゝ、われらは歩む枯木原

（三）えだもる月の青白う、かたみにやせし、手のゆびを、かなしみにつゝ、なぐさめて、われらは歩む枯木原

蒙藏研究 歐文圖書紹介

滿洲事情案內所では新たに蒙古、西藏、中央アジア關係歐文圖書を左の如く購入し、一般に公開してゐる、該地方研究者のために特に紹介する

▲西藏に就て（旅行記 ヒュック）▲未知の韃靼と西藏（一般紹介 ヒュック）▲北京より西藏へ（旅行記 セガラン）▲ヤデ門と中央アジアを通りて（旅行記 ケイブル）▲蒙古の天幕（探險旅行記 ハスランド）▲西藏とトルキスタンを過ぎて（旅行記 ボシヤード）▲スヴアン・ヘダンの事業と西藏山岳誌（地誌 マルジュリー）▲西藏、トルコ及び支那の旅行（旅行記 ヒュック、ガベット共著）▲オルドスにて（一般紹介 オースト）▲トルキスタンへの沙漠の道（旅行記 ラチモアー）▲西藏紀文（旅行記 フイリップ）▲首府熱河（都市 ヘデイン）▲冒險旅行（探險旅行記 アレクトウイーデイー夫人）▲支那トルキスタンの英國婦人（旅行記 マカートニー夫人）▲蒙古部族（民族 ストラッセル）▲西藏の三十年間（一般紹介 マクドナルド）▲アジアの高原及び沙漠の危險（探險記 ボスハード）▲東部西藏を横ぎりて（旅行記 フイルヒネル）▲中部支那（旅行記 ウエグネル）▲蒙古（旅行記 スプリンチエンシュタイン）▲ミンヤ・ゴンカー（旅行記 ハイム）▲トルキスタンの復合（政治 ラチモアー）▲地球の端（旅行記 アンドリウス）▲滿洲に於ける蒙古民族（民族・政治 ラチモアー）▲喇嘛の國への道（旅行記 ガンバト）▲支那に於て（一―四）（旅行記 ヒュック）▲ゴビ沙漠の謎（旅行記 ヘデイン）▲モンゴ・ハン・サイ・ダ・セキエン（言語・歷史 ヘニッシュ）▲韃靼人の一千年（民族歷史 パーカー）▲古代中央アジア人の足跡（探險旅行記 ステイン）▲嵐に拂はれたるアジアの屋根（事情紹介 デリンクラー）▲ヒマラヤに於けるメンザーブ（探險記 ウヴエレイーレンフルト）▲ウヴエレスト山（山岳誌 ヘデイン）

文藝

中篇小說 生活の花 8

川内堯 カット 池邊青李

時は滿子のうへにも、春夫のうへにも流れて行つた。前にすこし書いたやうに、春夫の公的な生活は、或る程度當時の社會的潮流の中に捲き込まれてゐたのであつたが、それはつひに物のはづみとも言ふべきであらうか、或る秋の早い朝に、一台の自動車が春夫の家の前に横着けになり、

「一寸署までおいでを願ひたい」

といふことになつてしまつたのであつた。

むろん春夫は、當時の右翼團體の一員と間違はれたのであつた。右翼は當時の社會の花であつた。

警察に行くと、直ぐ訊問があるかと思つてると間違ひで

「田中春夫を連れて參りました!」

そんな事を言つたやうだつた、それから

「しばらく入れて置け!」

といふ命令があつたのであらう、春夫は留置場へ案内されたのであつた。彼が本物の右翼であるのだつたら、そんなこととうに經驗濟みでなければならなかつた筈だ。田中春夫は右翼ぢやなかつた、ただ右翼の友人を一人か、二人持つてゐただけである。

まだ明けきらぬ、電燈のとぼつてゐる高等の部屋から、

「さあ、向ふだ!」

とばかりにどてらを着た春夫は留置場の方へと案内――一歩かされた。留置場は裏庭へ出たところに低い小さな別な建物としてしづまりかへつてゐた。金網のついたドアがガターンと鳴つて

「これ治安維持法ぢや」

春夫はちよび髭を生やした老頭兒の巡査に手渡しされたのであつた。

おゝ、留置場、豚箱。映畫や文學や人の物語にそれを見聽いたことはあつたが、田中春夫は身自から此處へ踏み込んだのは、人生最初の經驗であつた。しかも、どうだ、醉つ拂つての出來事でもあるのなら兎も角、「治安維持法違反被疑者」といふ大へんな肩書をつけられて、暗い、じめじめした・臭い特殊住宅へ強制移轉をやらされたのだつた。

連れられて來る途中、はゝあ、あのことだな、といふ自分での推測はついてゐた。よし、そんならひとかどの國士らしく、落ち着いて、豪然と聳えかへつてゐてやらう。子供の惡戯心のやうなものさへ彼の腦裡には動いてゐた。

「一九三〇・一〇・二八」

彼はそれだけの年代月日をどんな調子で叫び得るかと嘆いてみたのだつた。へん、惡くないぞ。自動車から見返る風物が、朝が大へん早いのでいつも見慣れてゐるものであるのにも拘はらず、彼には非常に新鮮なもののやうに思はれた。

「一九三〇・一〇・二八」

それを繰り返した時、ふつと、若し父が生きてゐたら、どんなに心配したことかと思つた。そしてその次には、京都にゐる滿子が、やがて新聞で事件を知り、捕へられた自分についても知るであらうが……と思ふと、急につめたい虚ろなやうな空氣が胸のあたりに充滿して來るのだつた。(つゞく)

秋果圖

その三 ねくたい

桃北好澄

Kさん

あなたの手紙は、轉々と私の後を追つて來て恰度一月目に屆きました。

私ももう國にはゐない。驚くでせう。それは兎も角矢張りなつかしかつた。久振りにKさんと膝を交へて語つてゐるやうで。

だが、あなたはもう小說で身を立てるのはやめだと書いてゐましたね。生活に叩かれてゐるとはいへ、あんにまで燃えてゐた綺麗な意力がさう易々と棄て去られたとは考へられない。此れはいつものあなたの突然の衝動であらう、いやきつとさうだと窓の方に歩いて行きながら、私は何だか胸が絞られるやうな思ひがしました。

Kさんは故鄉の事を詳しく書いてくれと云つたが何がいゝかな。

山吹御殿と呼んでゐた山寺の森によく水を汲みにくる娘がゐましたね。緊子とかいふ――あの子が、言問橋のカフエ「トネリコ」に出てゐるさうですよ。いつもむつゝりしてゐた彼女は酒に醉つて一體怎んな唄をうたつてゐるでせう。寺の坊さんと結婚する事になつてゐたのを嫌つて逃げて行つたのださうです。あの子のどこにそんな新しさが萠えてゐたのか知らないが、若い女たちが、自分の感情を大切にするのは嬉しいぢやないですか。

然し彼女はどんな唄をうたつてゐるのだらうと、澄んだ眼をしてゐた顔がふと浮ぶと何故か氣に懸るのです。ひとつ、會ひに行つて見ませんか。さうするとあなたもいゝ創作が書けるかもわからない。

創作といへば、「蘇鐵」は金に困つて廢刊して、後に「樟林」といふのが、組織を變へて出てゐるやうです、毎日印刷所に通ひ續けたあの頃の熱意を考へると外の連中に蹴落されたやうな氣がし、あなたも同じだらうと妙にしんみりとなつて來ます。

●ひどく醉つて歸つて、林檎を食べ乍ら此を書いてゐたら秋の佗しさが背筋に這上つて來、あゝまたかと發作が起るときのやうに、氣が縮むのです。

チエホフを讀んで、その作品に投げつけるやうな逞しい力を感じ、生命の實相なんてもういやに他愛がないと思ふ夜は實に安心して眠れます、だが私も隨分弱くなつたものだとつくづく思ふのです。

あなたの手紙にはわざと滿足な返しを書かなかつたが、此の次から出直して元氣な所を見せて下さい。

爆擊機

日滿文學への道

―勝本清一郎「藝術の國民的形態と國際的形態」に關聯して―

「新潮」十一月號で勝本は面白いことを言つてゐる。要點を紹介すると、横光や小島、片岡などの近作は、「形式に於ては國民的な、」内容に於ては國際文學的・世界文學的な、と云ふ考へかたを代表してゐる」といふのである。國民的な形式、それを彼に換言させると「繪卷物形式の長篇小說」といふことになる。

勝本の考へ方は、形式といふことにこだはり過ぎてゐると思ふが、それにしても確かに考へていい問題をとらへてゐると思ふ。ぼくがいま考へることは、滿洲にゐる日本人諸君が、あまりに「國民的な」形式と内容との作品をばかり書いてゐるのぢやないかといふことである。むろん、日本國民の眞髓を發揮したもの大いに結構、ただぼくはそれを滿人に讀ませてもわかるやうに書くといふ努力が大切ではないかと思ふのだ。

ぼくたちは、滿洲の文學を創造しなければならない

むろん、これも滿洲といふことにとらはれるのではない。世界文學をめざして書くがいい。ただ滿洲の現實に見て、日滿人の文化に關しての協力が豐饒な成果を生むためには、上來述べたやうな配慮が必要であらうとぼくは主張するのだ。(大內隆雄)

雜草俳句會詠草

山裾の祠あらはや秋の風
日和つゞく山ふところや柿熟る、
柿干せる緣にあまねき日ざしかな　安齡

○
　　勝司

温泉の町の店に人なし秋の風
枯草や斜に立てる道しるべ　かへで

○
道問ひて老婆が柿を求めけり
家毎に柿吊しある小村かな　哲二

○
猫まろむ緣の陽ざしや秋の風
秋風や聞く度道の遠くなる　轉人

○
堂守の衣古りたり秋の風　松魚

○
犬の糞此處にも在りて草枯るゝ　水馬

○
取毀つ廳舍の門や秋の風　南風

○
竿繼いで辛くもぎけり殘り柿
秋風に耳を立てたる荷駄の馬　告天子

○
草枯れて夕日靜けき牧場かな
干柿の障子にゆるゝ風日かな
公園の鹿の鳴く音や草枯るゝ　紅二

○
秋風や廣告貼りし泥の家
江に通ふ徑あらはや草枯るゝ
池水にたゝむ小皺や秋の風
挿み取る竿の先なる熟柿か

滿洲と日本との歴史的關係 (一)

岩間德也

此の一文は去る十月六日大連放送局よりの講演を速記轉載を乞ふたのである(由)

御紹介を受けました金州の岩間でございます、只今より、「滿洲と日本との歴史的關係」と云ふ題目に就きまして皆樣の御淸聽を煩はす積りでございますが、滿洲と日本と云ふことなりましては其關係範圍が至つて廣く事項も頗る廣範に亙りますが爲に、與へられました時間では御話が難しからうと存じまして今日は其の第一回と致しまして滿洲の門戸を爲して居りますところの

關東州と日本と

の歴史的關係に就て御話を申上げることに致します。

關東州と日本との歴史的關係と申しましても、ずつと以前のことは格別顯著なる事實もございませんから、主として元明以後の關係事項に就きまして御話を申上げます。

此の元時代の日本との關係と申しましても、夫れは關東州と日本との直接の關係ではなく、寧ろ關東州內に於ける日本關係の事實又は史蹟と申す方が妥當かとも思はれる次第の事項でございます。何かと申しますと後の弘安四年の元冦に關するものでございます。當時元軍は東路軍と江南軍と二手に分れまして南北より日本に襲來したのでございますが、其の東路軍と申しますのは元軍の將、所都洪茶丘及び高麗軍の將、金方慶等の率ひましたところの蒙古人、漢人、高麗人の三軍でございまして、弘安四年の三月朝鮮に到着し、五月同所を日本に向つて進擊したのでございます、此の軍は六月六日に志賀島に到りまして之から日本軍と各地に於て

晝夜を分たず

交戰を致したのでありまするが、其の後東路軍より稍遲れて參りました江南軍と合體し間も無く閏七月一日の颶風に遭ひまして賊船は盡く漂蕩し沈沒し、其の多くは海底の藻屑となりましたが、其の上我軍の猛烈な襲擊を受けまして殺戮せられたもの算なく俘虜となつた者も亦數千人と云はれて居るのであります、然るに此の戰ひに關しまして元史日本傳に敗卒千閭と云ふ者の言葉として掲げられて居りますところに據りますと、其の日颶風の爲に船か破られ士卒は殺され散々敗北を致しましたので夫れから五日目に敵の大將范文虎等は各自に破壞を免れました丈夫な兵船を選びまして

士卒十餘萬を

捨て置いて自ら逃去つたのでありまする、其處で取殘されました元兵等は彼等の中から張百戸なる者を推して主師と爲しました、即ち總司令官と致しまして、其の指揮の下に木を伐り船を作つて本國に歸らうと致しました、ところが七日目になりまして日本軍の追擊に遭ひまして其の多數は戰死し殘餘の者は盡く俘虜となつて博多に送られましたので御座います

州外邦人を代表して 觀菊御宴にお召し
光榮に浴した佐藤精一氏夫妻
今朝「ひかり」で出發

十一月三日明治節の佳辰をトして東京新宿御苑內に於て開かれる觀菊御宴に州外を代表して新京城後路二〇九佐藤精一氏夫妻が御召しの光榮に浴することに決定、廿七日其の筋よりの通知に接したが佐藤氏は神奈川縣出身で夙に明治三十九年長春に來り津久井兵衛門氏の後援で城內に燐寸公司を始め大正三年吉林燐寸に合同されその專務となり昭和四年鐵西燐寸工場を起し高砂製材工場をも開始し昭和八年吉林燐寸を買收して同社長となり今日に至つてゐるが其の間公共事業に貢獻尠からず選ばれて今回の光榮に浴することゝなつたものである、同氏はてる子夫人と共に三十日新京驛發「ひかり」で出發することゝなつた、因に家庭は夫人との間に四男二女の子福者で長男は目下仙台高工に在學中である

光榮身に餘る
佐藤精一氏語る

觀菊御宴に參列の光榮に浴した佐藤精一氏を城後路の自宅に訪へば感激の面持ちで語る
此の度び計らずも御招きの通知に接し、眞に恐懼にたえません、私は一切の私事を放擲して明日の『ひかり』で出發するつもりでゐます聞けば州外より唯一人の御招きとの事個人としては此れ程光榮に餘る事はありませんが今後は滿洲に於ても斯る光榮に浴する者の幾人も出ん事を希つて止まない次第です

郵政管理局 官制改正

郵局の新設充實に伴ひ管理事務著しく增加し定員を增加する爲廿九日勅令を以て郵政管理局官制中改正の件が公布されるが又治安確立し國內の諸制度整備せられ郵局の取扱ふ郵便事務も大いに激增を來たし其取扱事務を新たに擴張せざるべからざるものあり之れに應じ郵局を新設し既存の郵局を充實し以て激增又は擴張せられたる郵局事務の取扱ひに遺憾なからしめん爲郵局官制中改正の件も公布される筈

電線泥捕まる

二十八日午後八時頃和泉町附近を新京署員が警邏中電線三百米時價三十圓を持つて通行する行動不審の男を發見本署に連行取調べると原籍山東省生れ滿鐵新京保安區臨時傭人姜永富（二八）で姜は約一ヶ月程前雇はれ同夜々勤を奇貨とし勝手知つた倉庫內から件の電線を窃取賣却せんと持ち行く途中なること判明留置の上餘罪取調べ中

滿洲國全人口 三千二百萬へ躍進
戸口調査の結果近く發表せん

躍進滿洲國の發展に伴ひ國內人口は目覺しい激增振りを示してゐるが、民政部調査によれば康德元年度末現在の滿洲國內人口は約三千二百八十六萬九千で、前年の三千八十七萬九千七百十七人に對し百二十萬といふ加速度的增加である、なほ戸口調査の結果は數日中に滿洲國政府より正式發表される筈である

新京赤十字 秋季巡回施療終る

赤十字社新京委員支部では去る九月廿七日より秋季巡回施療を開始し十月十九日に終つたが、受診患者總數一、三三五七人、投藥延日數八、六四五日分の好成績に終了したが、施療病症の最多數は榮養器病で、呼吸器病、外被病、眼病が之に次ぐものであつたと

大森上等兵の遺骨 昨夕着京原隊へ

東邊道の匪賊討伐で戰死を遂げた南嶺〇〇〇隊故大森上等兵の遺骨は二十九日午後三時二十七分着列車で坂花隊長始め戰友その他在鄉軍人、國防婦人會員、國防婦女會員多數の出迎へ裡に新京に到着直ちに原隊に輸送され同夜營舍においてしめやかなお通夜が催された

竹須〇隊の 吉川一等兵戰死

【ハルビン國通】吉本部隊に配屬され共匪討伐中の竹須〇隊吉川善吉騎兵一等兵は廿七日午前四時三十分頃、須藤下士斥候に從ひ寧安西南方東京城の西南方一千米の無名部落に差かゝるや附近に潜伏中の匪賊より狙擊され 顋に貫通銃創を受けて名譽の戰死を遂げた、因に吉川一等兵は靜岡縣磐田郡久努村字廣岡の出身である

朝陽川北方で 匪賊擊退
藤見伍長戰死

【ハルビン國通】東部地區橫山部隊方面の小田部隊の田村〇隊は廿五日朝陽川北方附近で輕機關銃を有する約百の匪團と交戰これを擊退した、敵の遺棄屍體二十、此戰鬪で我方藤見猛伍長（靜岡縣出身）は戰死した

土橋〇隊 共匪を擊退

【チチハル國通】廿七日午前十時半頃掃匪中の澁谷本部隊土橋〇隊は泰安鎭東北方西城鎭附近で共產匪四十名と遭遇交戰一時間の後之れを南方に擊退したが敵の遺棄死體十數名、重傷多數我が損害

△戰死　一等兵　山口源太郎
△重傷　一等兵　白木理平
△輕傷　上等兵　入弓里士

九龍匪を 徹底的殲滅

【ハルビン國通】東部地區後藤部隊方面鏡泊湖東南松乙溝駐在の小笠原大尉以下〇〇名の〇〇隊は廿六日午前六時河谷（鏡泊湖西南方）に於て大暴風雨を冒し九龍匪の根據地を攻擊し敵匪に徹底的打擊を與へこれを東南方に擊退した敵匪の損害遺棄死體二十、小銃四、拳銃一其他山寨、糧食を燒却した、此戰鬪に於て我方の損害左の如し

△戰死　特務曹長藤代一六八二（愛知縣出身）曹長松岡稔二（岐阜縣出身）
△重傷　一等兵小栗讓孝、同檜山惠治
△輕傷　一等計手小澤眞一、伍長森百司、一等兵梅田香二等兵庄田治男

南滿三都を繫通する 運河計畫表面化
撫順―奉天―營口間の大工事

【大連國通】撫順、奉天、營口を繫ぐ運河及び遼河に依る運河計畫の實現は南滿、遼西一帶に文化的、產業的に躍進的發展を齎すものとして松岡總裁は着任以來之に着目し滿鐵の立場より同運河の完成に依る撫順炭の輸出、營口埠頭の發展及び流域の灌漑等を數字的に研究し之が滿鐵に及ぼす影響を檢討しつゝあるが總裁は廿八日佐藤理事及び港灣施設の權威鐵道部の川口技師を招致し技術的方面より同運河の實現性につき詳細にその意見を聽取した

德都北方で 匪賊掃蕩

【チチハル國通】二十七日午前十時半頃德都駐屯山本部隊の雨澤曹長以下七名は警察隊員七名と協力德都北方約十里の地點に於て匪賊約三十名と交戰匪賊六を斃し潰走せしめた、我方の損害は戰死兵一（姓名不詳）負傷幹部候補生梅原啓一、渡邊一等兵である

滿洲國討匪軍 隨處に轉戰

【吉林國通】日本軍の今季大討伐と相俟つて滿洲國軍も隨處に轉戰幾多の功績を收めつゝある、即ち吳營長の指揮する二個連〇〇名は廿八日午前九時半頃安圖縣城西北廿五キロの兩江口において軍警と同一の服裝を爲す系統不明約百名の匪團と遭遇、三時間にして之を樺　方面に擊退したが敵匪の損失多大の見込み、又步兵十團第一營長の指揮する〇〇名及び山崎指導官の指揮する穆稜縣警察隊〇〇名は廿八日午前十一時樺　縣の山腹にて串山好匪約二百と遭遇交戰一時間半にして之を東方の密林地帶に擊退したが敵匪の遺棄屍體七、その他武器多數を鹵獲した、更に第二憲兵隊討伐隊〇〇名は紅密峰東北方十キロの沙河子に於て廿八日午前六時頃双好、全好の合流匪八十と二時間に亘つて交戰、之に大打擊を與へたが敵匪の遺棄屍體は此戰鬪でも七を算した

新裝成れる 吉野町市場の內外觀

吉野遊一青年 送局さる

一萬八千圓の橫領犯人吉野遊一（二四）は新京署の取調べ一段落ついたので二十九日午後新京總領事館に送局された

山海關憲兵隊 朝鮮獨立黨員を逮捕す

【山海關國通】去る廿日奉天行直通列車の中に擧動不審の一鮮人あるのを列車警乘の山海關憲兵隊山本上等兵が發見取調べたる所右は豫て手配中の朝鮮獨立黨員金榮環（二一假名）なる事判明し直ちに憲兵分隊に拘引新聞記事掲載を禁じ取調中の所犯罪事實明白となつたので廿五日一件書類と共に身柄は錦州憲兵隊に押送され同時に記事掲載禁止がとかれた、金は金寅雄を首領とする朝鮮獨立黨特務隊員にして今回黨員募集の重大使命を帶びて表面上は病父看病の名目を以て陸路安東に行くべく十六日南京出發北上せるを山海軍憲兵隊員に逮捕されたものである、尙最近この一味が陸路入滿の形勢があるので山海關憲兵隊では嚴重警戒の目をひからせてゐる

熱河の風物 2
柴苅る老婆
畫と文・宮坂勝

熱河の十月はうらゝかな小春日の連續である。だが、ともすれば朝夕には、一燃し位の溫突の欲しい日もあるさうした燃料にするものであらう。村落から枯柴や高粱を積んだ驢馬が陸續と承德の町に集る。

朝まだき頃、驢馬の背から分けた一束の柴を抱きかゝへて老婆は足早に去るのであつた。

3A－1
一回近藤の不調を 慶應押切る
早慶二回戰若原出場せず

夕刊既報＝早慶第二回戰は第一回慶應三點を讓得し兩軍とも接戰を交へ試合は八回となつたこの回早大駿足の竹谷セフチーバンドに成巧し近藤生還一點を返しチャンスを迎へてゐたが疲勞の見えた土井退き中田更代よく奮鬪し遂に危機を脱し九回早大得點なく三A－一で慶應優勝した閉戰四時十七分（內地時間）

得點

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
早	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
慶	3	0	0	0	0	0	0	0	A	3A

	打數	安打	犧打	盗壘	三振	四死	殘壘	失策
早	28	6	1	2	6	6	8	0
慶	31	6	0	0	1	4	5	1

名流夫人の集ひ

南軍司令官夫人嘉久子さんは廿九日正午から官邸に於て日滿名流夫人約四十名を午餐に招き懇親會を催した

馬車の忘れ物

首都乘用馬車人力車營業組合事務所廿三日中取扱馬車內の忘れ物左の如し

廿三日西三馬路紫色風呂敷包一個（疊屋道具在中）大經路警察署保管、廿三日新京驛前ラクダ色毛糸シャツ一枚同、廿三日サージセビロ服一着（手帖、印鑑在中）同

來月一日は 新京署事務休止

十一月一日官幣大社熱田神宮遷座祭當日新京署では一般事務を休止する

下田夫人 おめでた

新京總領事館警察署司法主任下田謙警部夫人は二十七日男兒分娩母子とも頗る健全であると

若原選手 病む
早慶二回戰 出場出來ず

【東市國通】早稻田の主戰投手若原正藏君は早慶一回戰の九回目に慶應楠本投手の剛球を左肋骨に受け試各終了と共に戸塚病院に入院したが午後七時には七度三分の發熱で二十九日の二回戰に出場出來なかつた

宮坂氏個展 來月二日より

今夏來滿以來滿洲各地に於て展覽會、講習會を開催してその特色ある書風によつて滿洲國洋書界に多大の刺戟を與へつゝある帝國美術學校教授、國書會々員宮坂勝氏は來月二、三、四の三日間に亘り新京記念公會堂に於て個人展覽會を開催する事となつた

寄附

市內白菊町三丁目十三ノ一前野義氏は長女鈴子さんの忌明に際し二十九日金三十圓を貧民救濟基金にと新京署保安係へ屆け出た

謹訂

本月廿五日附夕刊中北平電「尹澤榮侯逝去」に關する記事中「李王妃殿下の弟君」とあるは「故李王坧妃殿下の御父君」の誤りにつき謹んで訂正致します

辯護士の別役さん―珍しい姓なので誰も正しく名を呼んでくれない「べつちやく」さんが本當なのだそうである、しかし「べつやく」さんでいいことに、東京の裁判所でも認定濟みであるそうな、いや裁判所が困つて御本人に頼んでそう讀んでもいいやうにして貰つたといふ話、犬の支那料理禮讃黨理由はホルモン關係に於いて良いといふので……

愛よ戰ひとれ

(讀賣上演映畫化)

福田正夫 作
武八 畫

(六十七)

戀情(三)

湯本の松濤樓は、溪流早川にのぞんで水の流れの音が朗かだ。彼等はこゝに着くと、渡邊が希望して、

「別館がいゝね」

といふのであつた。

彼はよくその案内を心得てゐたのであつた。――勝美はその様子に氣がつくと、事もなげに笑つた

「渡邊さん、いつも別館？」

「そんな……よしなさい、女中がきいてゐます」

彼は少してれてゐた。

女中は渡邊を知つてゐたが、華やかな令嬢と見すぼらしい平常衣のまゝな勝子に、あきれたやうに目をみはつた。――が、彼等はすぐ別館の小さな離室にとほして貰へた。

おきな湯殿もそこについてゐた。

「私、湯入らして貰ふわ」

勝美はまつ先に、そのしきりをしめて、やがて隣への部屋に坐つてゐる勝子を呼んだ。

「お姉、次にお湯入り！」

「いえ、おあとで……」

「さうかい、……じゃあ、手を洗つて着付けを手傳つてね」

「お浴衣は……」

「私、そんな誰が手をとほしたか知れないものは嫌ひよ」

「はい」

勝子は彼女のために小間使ひとして、いろ／＼はたらかなければならなかつた。――渡邊はその間廊下駄をはいて、そこらを歩き廻つてゐたが、歸つてくるとすぐ、勝美がちやんとしてゐるのを見た。

「ふー」

彼は苦笑した。

「警戒してゐらあ」

彼の呟きは卑しかつた。

「なあに？」

「いや、……窮屈じゃあないんですか？」

彼は返事もきかずに湯殿に這入ると、急に口笛を吹き出した。――狼のやうに、彼はその慾念をすてずに。

「ふん、逃がすものか？」

と心に叫んだ。

彼が出て來た時、勝美が言ひ付けたらしく、勝子がそれに浴衣を着せかけた。渡邊はにやりとして勝美が既に出てゐるのを見ると、彼女にさゝやいたのである。

「君は、金があるのかい？」

「いえ！」

顔を赧らめた彼女に、渡邊は十圓札を三枚ほど握らせた。

「あとで、一人で歸つてくれないかね。小田原まで自動車もたのんどいたから」

「え！」

「わかるね」

「でも……」

「君のことは、金井君にも話をしてあるんだ」

彼はいふことをきかなければ、世話をしないといふ態度を見せた。

「見つからないやうに、歸つてくれ給へ。……さう、都合で國府津か大磯まで車で行つてもいゝ」

「はい！」

勝子が追手を恐れてゐるのを、彼は見越したのであつた。

「いゝね」

彼は脅しつけてしまつた。

「は、はい！」

彼女はしかたなくうなづいて、うなだれてゐた。